

目次

※ページ数をクリックすると該当ページに移動できます

| フローリング施工説明書

P2 - 9

| ウォール施工説明書

P10 - 15

| スクエアパネル施工説明書

P16 - 21

| スクエアパネル（やとい実仕様）施工説明書

P22 - 29

| デザイン長押施工説明書

P30 - 35

施工業者様用

〈施工説明書〉

KITOIROフローリング 無垢フローリング

床暖房対応

非床暖房対応

捨て張り工法用

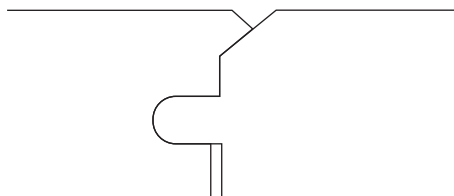
このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

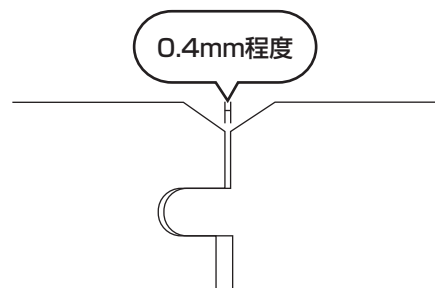
1. 床張り施工の注意点

床暖房施工の場合



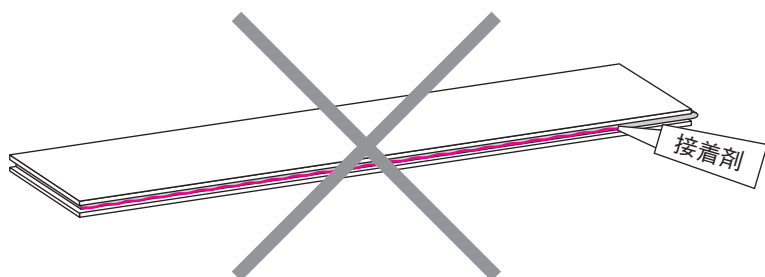
軽く突く程度にサネ接続してください。

非床暖房施工の場合



同梱のスキマゲージを使用してサネ同士の接続部分に0.4mm程度の隙間を設けてください。

2. 長辺サネ接続部分への接着剤塗布の禁止



長辺サネ接続部分に接着剤を塗布すると、膨張、収縮により床材の割れなどが生じるおそれがあります。

3. 必ず指定接着剤・釘の併用施工をおこなってください。

4. 床暖房施工の場合は、接着剤・釘の使用できる床暖房システムであることを確認してください。

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために
必ずお守りください



注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。

 禁止	・屋内専用。 屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進む原因となります。 ・接着剤・釘の併用施工ができない床暖房は使用しない。 床暖房対応の床材を使用して床暖房を施工する場合は、必ず当社指定の接着剤・釘の併用で施工してください。(詳しくは床暖房メーカーにお問い合わせください。) ・油性・水性ワックスの使用禁止。 油性・水性ワックスはすべりやすくなる為、当社推奨の樹脂ワックスを使用してください。 ・ピアノ・大型冷蔵庫等重量物の直置き禁止。 床材が破壊するおそれがありますので必ず補強対策をし、インシュレーター等を使用してください。	・自然塗装製品は水分厳禁。 自然塗装製品をお手入れする際などに、水は絶対に使用しないでください。毛羽立ち、白化、シミ等の原因となるおそれがあります。 ・長辺サネ接続部分への接着剤の使用禁止。 長辺サネ接続部分には接着剤の塗布は絶対に行わないでください。 ・根太上の直接施工の禁止。 直接根太上に施工すると強度不足のため床材が破損することがありますので、必ず根太上に厚さ12mm以上の合板を捨て張りしてください。
 必ずおこなう	・床下換気口の設置。 湿気がこもると床材が腐朽する原因となります。 ・床下収納庫への使用時の補強。 床下収納庫の天板に直接フローアを使用することはできません。必ず補強を行ってください。	・開梱後は換気を行なう。 本製品はホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。
注意!	・パネルの釘打ち位置注意。(床暖房を使用する場合) パイプなどの釘打ち禁止部に釘打ちしないでください。水漏れや故障の原因となります。	・適合発熱パネルの確認。(床暖房を使用する場合) 適合しない発熱パネルを使用すると荷重による破損や踏み鳴り・または事故の原因となるおそれがあります。

※床暖房を使用する場合は、必ず床暖房施工に対応した施工方法をお守りください。
また床暖房を施工する場合は、必ず床暖房に対応した床材を使用してください。

1 施工の前に確認してください。

① 開梱

梱包を開いたら数量に不足及び損傷等の問題が無いかどうかを確認してください。

当製品は木質製品です。輸送中・施工中の水漏れは厳禁です。開梱後、製品に水漏れ等の不具合があった場合には必ず施工前にお買い求め店または弊社までご連絡ください。

また開梱後は速やかに施工してください。

② フローアの仮並べ

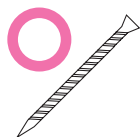
フローアの表面には天然木を使用しているため、色や木目・溝部分に多少の違いが出てくる場合があります。施工前に全部の梱包を開いて色合わせをしてください。

極端な不具合などがありましたら、施工前にお買い求め店または弊社までお申し出ください。

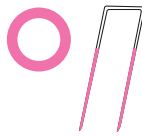
施工後のお申し出には応じかねます。

③ 工具の準備

■釘仕様



フローアネイル
38mm以上



接着剤付きフローア用
ステーブル38mm以上

※石膏ボードを下地に使用する場合、石膏ボードの下に厚さ12mm以上の下地合板を施工し、下地合板まで届く長さの接着剤付きフローア用ステーブル(足長48mm以上)、またはフローアネイル(長さ48mm以上)をご使用ください。



フィニッシュネイル(針釘)
ブラッドネイル(針釘)

※フィニッシュネイル・ブラッドネイル(針釘)や通常の釘類は使用しないでください。

■指定接着剤

メーカー	品番	接着剤タイプ
ウッドワン	捨て張り/根太工法用接着剤 ZX0223	ウレタン樹脂系接着剤 (床暖房・非床暖房共用)

その他推奨指定接着剤

メーカー	品番	接着剤タイプ
(株)セメダイン	フロアロック110	変成シリコン樹脂系接着剤
コニシ(株)	ボンドKU928C-X PX280	ウレタン樹脂系接着剤 変成シリコン樹脂系接着剤
(株)オシカ	セレクトィMS-330	変成シリコン樹脂系接着剤
(株)日本アクア	アクアタイト	変成シリコン樹脂系接着剤
積水フラー(株)	床根太・床仕上げ接着剤#55-S	変成シリコン樹脂系接着剤
アイカ工業(株)	JW-400NF/K/K4(床棟梁) SE-770(爽床)	ウレタン樹脂系接着剤 変成シリコン樹脂系接着剤

※上記の接着剤からお選びください。

※酢酸ビニル系(白ボンド)・アクリル系エマルジョンなどの水性系接着剤は使用しないでください。

2 施工手順

① 下地の確認(施工)

(1) 十分な乾燥の後、施工する

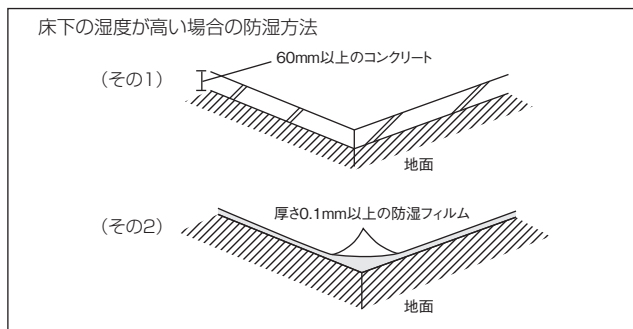
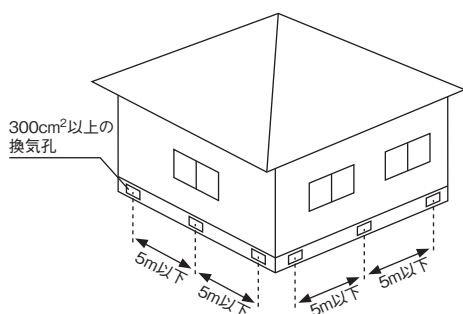
捨て張り施工の場合や、RC構造などの床下が完全防水の場合、下地材・根太・床下等がひどく濡れた状態で施工すると、施工後の床材に伸びや膨れ・変色やカビの原因となるおそれがあります。床下地や床下が雨で濡れると乾燥するまでに時間を要します。**屋根工事が終わるまではビニールシート等で濡れないように保護してください。**

(2) 防湿のために風通しをよくする

床下換気口の位置と数は建築基準法令に従ってください。

(外壁の床下部に壁長さ5m以下毎に、300cm²以上の換気孔設置)床下の湿度が特に高い場合は、地盤全面に厚さ60mm以上のコンクリートの打設、または厚さ0.1mm以上の防湿フィルムを全面に敷きつめる等の防湿処理をおこなってください。

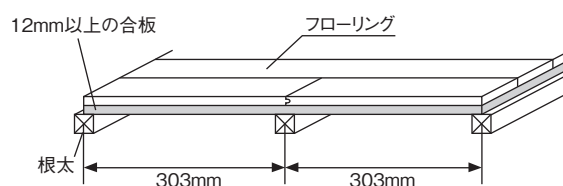
一般住宅 換気孔の適正配置(参考)



(3) 根太施工

根太には反り、ねじれの無いプレーナーがけした45mm角以上の乾燥材(含水率14%程度)を使用してください。

根太間隔は303mmピッチとしてください。

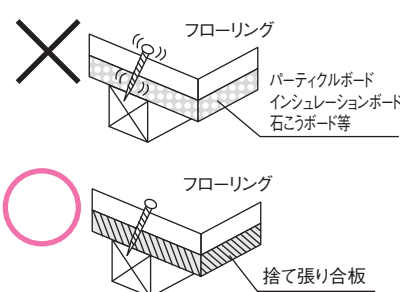


(4) 捨て張り合板

捨て張り合板専用の床材ですので、直接根太上に施工すると強度不足のため破損することがあります。根太の上には下地合板として**厚さ12mm以上、含水率14%以下**のものを使用してください。

※下地にはパーティクルボードや石膏ボードは使用しないでください。

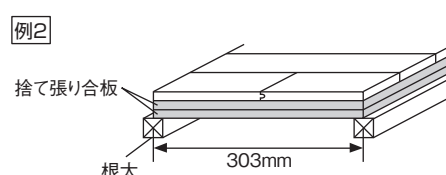
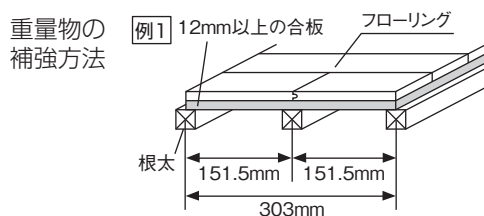
床下(コンクリート)等はコンクリート含水計で含水率10%以下であることを確認し、施工をおこなってください。含水率が高いと接着不良やフローアの反り、突き上げ、変色、カビなどが発生するおそれがあります。**また根太と合板は接着剤・釘併用施工としてください。**捨て張り合板は突きつけて施工せず、2mm程度継ぎ目をあけてください。その際、捨て張り合板の接合部の段差ができないように注意してください。



(5) 重量物設置の場合の補強処理

重量物を設置する場合には根太間隔を151.5mmにする(例1)か、12mm以上の下地合板を2重に捨て張りして(例2)補強してください。

※発熱パネルの耐荷重についてはパネルメーカーにお問い合わせください。



床暖房を施工する場合

小根太付き温水マットの場合

- 小根太付き温水マットとフローアの適合を確認したうえで施工をおこなってください。
- 小根太とフローアが直交するように割り付けてください。
- 小根太付き温水マットは各メーカーの施工要領に従って施工してください。

発熱パネルの場合

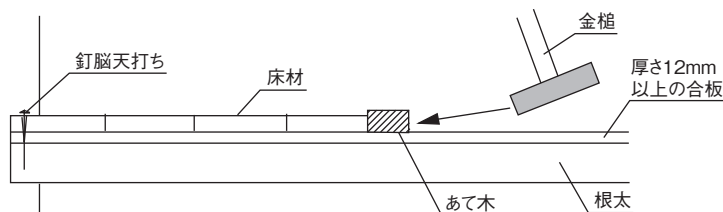
- 発熱パネルとフローアの適合を確認したうえで施工をおこなってください。
- 発熱パネルは各メーカーの施工要領に従って施工してください。
- 発熱パネルの周辺の副資材(合板等)との段差が1mm以下になるように仕上げてください。
- 根太間、または根太下には発熱パネルメーカーが指示する断熱材を設置してください。

② フロアーの割り付け

●フロアーの短辺部のサネ接続は根太上になるようフロアーの割り付けをおこなってください。

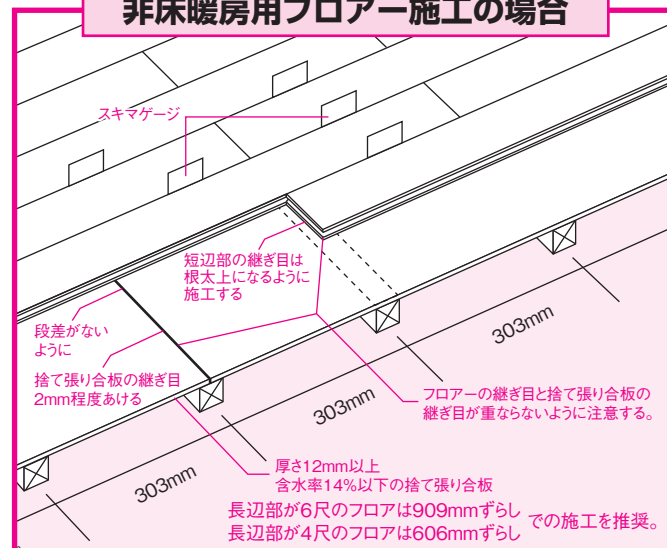
●フロアーは根太と直交するように施工してください。

※捨て張り合板の継ぎ目とフロアーの継ぎ目が重ならないように注意してください。

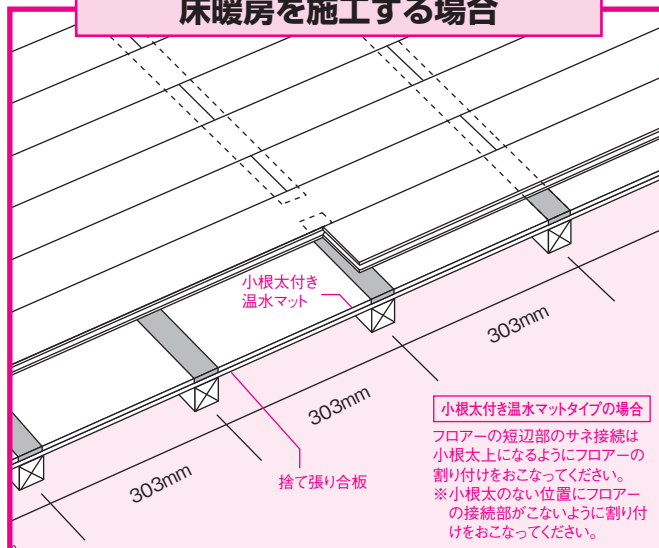


図のように端部の床材は、釘を脳天打ちで完全に固定してから行ってください。張り施工に際しては、床材の端材等を当て木として使用し、サネを直接金槌で打撃しないでください。

非床暖房用フロアー施工の場合



床暖房を施工する場合



⚠ 非床暖房用フロアー施工の場合の注意

無垢フローリングは吸湿による膨張が大きいのでサネ同士のジョイント部はスキマゲージまたは名刺等を用い0.4mm程度の隙間を設けてください。又、木口のジョイント部もきつく締めつけないで緩めに施工してください。(スキマゲージが同梱されています。)

⚠ 床暖房施工の場合の注意

無垢フローリングは乾燥により隙間が出ることがあります。施工時にはかるく突く程度に施工してください。木口のジョイント部もきつく締めつけないで緩めに施工してください。

③ 接着剤の塗布方法

①弊社指定の接着剤を根太上に303mm間隔で塗布してください。

②短辺接続部分は両方のフロアー裏面に充分付着するように塗布してください。

※接着剤カートリッジのノズル1口タイプの場合、短辺接続部分には両方のフロアー裏面に充分付着するように2列に塗布してください。

(接着剤の太さ約8mm／本が目安。塗布量:約150g/m²)

※接着剤カートリッジのノズル4口タイプの場合、短辺接続部分には両方のフロアー裏面に充分付着するように塗布してください。

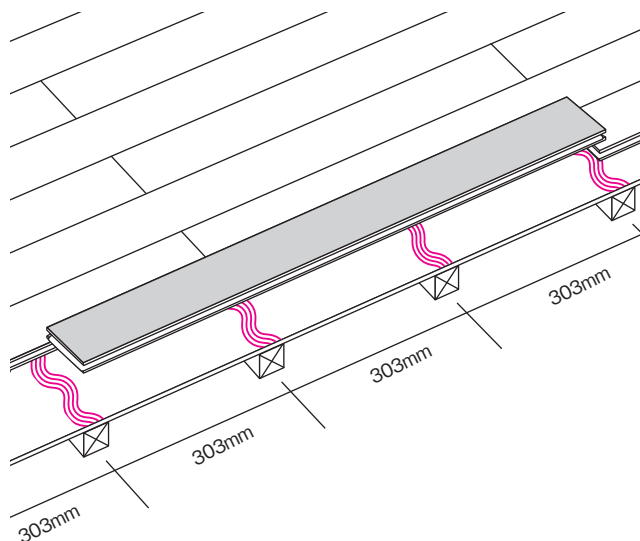
(接着剤の太さ約4mm／本が目安。塗布量:約150g/m²)



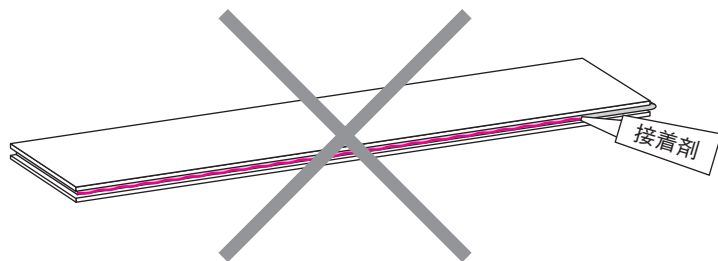
塗布量が8mm／本になるようにノズルの先端をカットしてください。

⚠ 注意

接着剤がフロアーの表面に付着した場合は、乾いた布や、シンナー・アルコールを染みこませた布ですばやく拭き取ってください。接着剤が硬化すると取れなくなります。また、水拭きだと接着剤が表面に残り、ムラや汚れの原因となるおそれがあります。



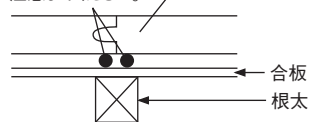
長辺サネ接続部分へは接着剤を塗布しないでください。



根太専用ボンド

※根太専用ボンドを短辺接続部分に塗布する際、両方のフローアに接着剤が付くように注意してください。

サネ接続部にはボンドは塗布しないでください



⚠ 注意

サネ接続部分にボンドを塗布すると、膨張・収縮により床材の割れなどが生じるおそれがあります。

床暖房を施工する場合

①弊社指定の接着剤を小根太上に303mm間隔で塗布してください。
※発熱パネルタイプの場合は釘打ち可能位置に303mm間隔で塗布してください。

②短辺接続部分は両方のフローア裏面に充分付着するように塗布してください。

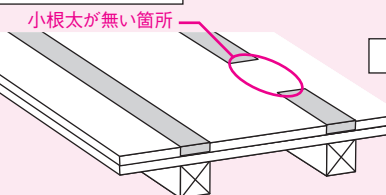
※接着剤カートリッジのノズル1口タイプの場合、短辺接続部分には両方のフローア裏面に充分付着するように2列に塗布してください。
(接着剤の太さ約8mm/本が目安。塗布量:約150g/m²)

※接着剤カートリッジのノズル4口タイプの場合、短辺接続部分には両方のフローア裏面に充分付着するように塗布してください。
(接着剤の太さ約4mm/本が目安。塗布量:約150g/m²)

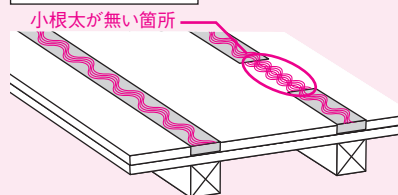
■ 接着剤 塗布量が8mm/本になるようにノズルの先端をカットしてください。

③温水パイプ配管コーナー部の小根太がなく釘打ちできない箇所には接着剤塗布量を増やし、フローアのサネ接続部分を接着剤で確実に固定してください。
※小根太の無い部分にフローアの接続部ができる限りこないように注意してください。

接着剤塗布前



接着剤塗布後

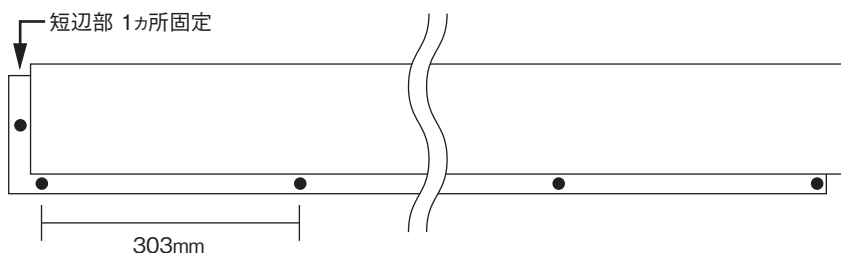
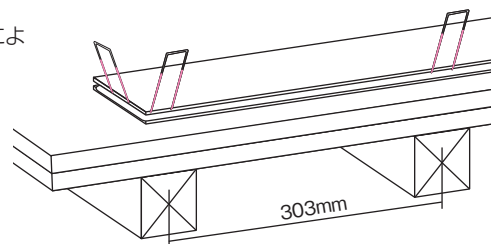


④ 釘打ち

フローアの長辺方向303mmピッチ、短辺方向(エンドマッチ部)1ヵ所、弊社指定の接着剤付きフローア用ステーブルもしくは、フローアネールを根太上に打ち込んでください。

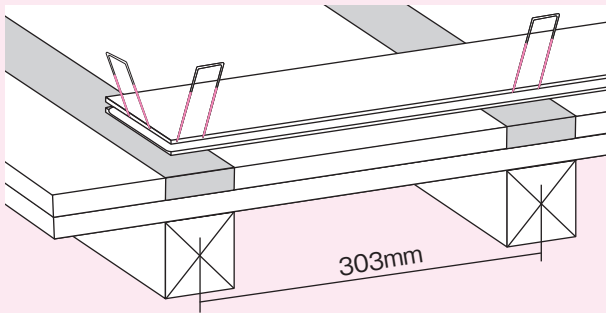
下地への固定はしっかりと行ってください。無垢フローリングは合板突板フローアより吸放湿による寸法変化が大きく生じます。

下地に対して推奨する釘と接着剤でしっかりと固定してください。
しっかりと固定することにより、寸法変化を小さく抑えることができます。

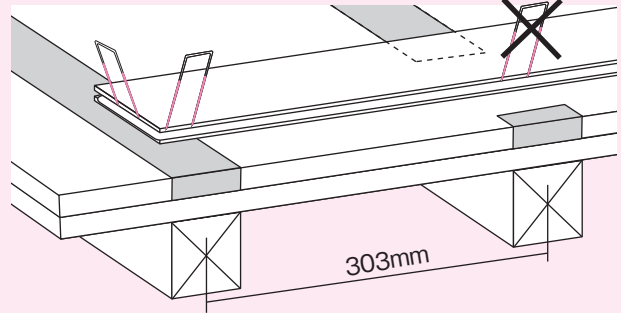


床暖房を施工する場合

※フロアーの短辺、長辺のサネ接続は小根太上になることを確認した上でフロアー施工を始めてください。
釘打ちはフロアーを押さえ、フロアーと下地をしっかりと密着させた状態で釘打ちしてください。



フロアーの長辺方向303mmピッチ、短辺方向(エンドマッチ部)1カ所、弊社指定の接着剤付きフロアー用ステーブルもしくは、フロアーネイルを小根太に打ち込んでください。



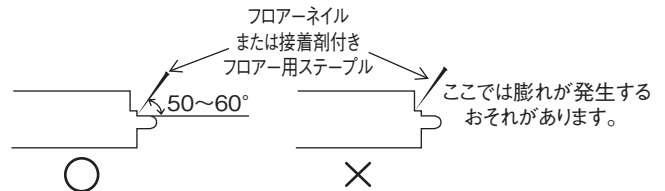
※温水パイプ配管コーナー部の小根太が無い箇所については釘打ち厳禁です。

⚠ 注意

釘(接着剤付きフロアー用ステーブルもしくはフロアーネイル)打ち込み時、釘の頭がフロアーにめり込まないように適正なエア圧を設定してください。釘の頭がめり込んだ場合、適正な釘保持力が確保できません。

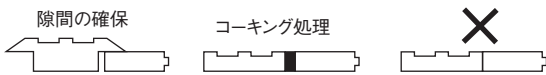
※釘打ち角度は50°~60°で打ち込んでください。これ以外では釘頭が基材を持ち上げ膨れが発生してしまうおそれがありますので特に注意してください。

※レッドオークソリッド/バンブーソリッドにはネイルライン加工はありません。

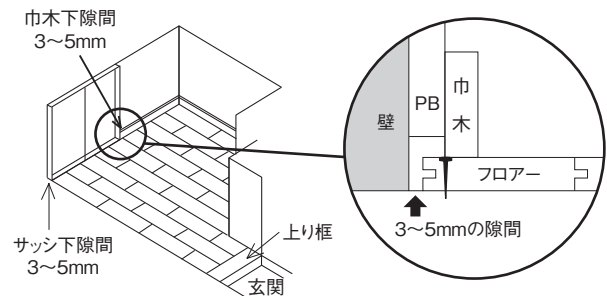


※フロアー周辺の壁際およびサッシ下などには必ず3~5mmの隙間をあけてください。
また端部の床材は脳天から釘打ちし、完全に固定させてください。

※周辺部の納めは必ず隙間を設けるか、コーキング処理してください。
吸湿時にフローリングが膨張して不具合が生じるおそれがあります。



施工例

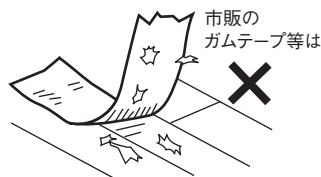


⑤ 梅雨時期の湿度対策

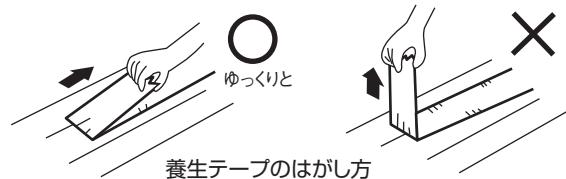
● 施工現場にて開梱後は速やかに、施工してください。開梱後の製品吸湿には十分注意して施工をお願いします。

⑥ 養生

● 施工後は、木屑や砂、ごみをきれいに取り除いてダンボール、ベニヤまたは養生カバー等で隙間なくカバーしてください。市販のガムテープや粘着力の強い養生テープをご使用になりますと、塗膜の剥がれの原因になりますので、別売の養生テープ(ZY0211)をご使用ください。



● 養生テープを取り除く際は、テープを床面と垂直にしながら剥がすと、製品表面の塗膜剥離をおこすおそれがありますので、テープを床面と平行にしながら、ゆっくりと剥がしてください。



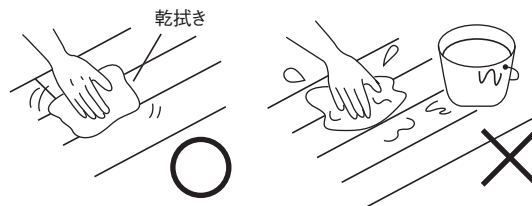
⚠ 注意

フロアー施工後、接着剤が硬化するまで(1週間以上)、絶対に床暖房および暖房機器の使用は避けてください。
フロアーのサネ接続部の隙間発生などの原因となるおそれがあります。

3 施工終了後

汚れ落とし

ほこり、小さな汚れを乾いた布で乾拭きしてください。水拭きを行うと長期の間に割れが発生することがありますので、避けてください。ただし、汚れのひどい場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた雑巾を固く絞ってから拭いてください。



美装業者様におかれましては、下記の点およびワックス塗布の注意事項について十分注意して作業してください。

※フローリング表面に、水や洗剤を撒き散らさないでください。変色や、床材の変形(膨れ)の原因になります。

※ポリッシャーには柔らかいパットをご使用ください。表面のキズの原因になります。

※自然塗装製品には水は絶対に使用しないでください。毛羽立ち、白化、シミ等の原因となるおそれがあります。

通常塗装の場合

※自然塗装製品については、次頁をお読みください。

ワックス塗布の前に

①ワックスの選定

半年に一度、ワックスによるお手入れを施してください。必ず弊社推奨のワックスをご使用ください。他のワックスはトラブルの原因になります。

無垢フローリングビノアース・レッドオークソリッド・オークソリッド(F・DO色)にはノンブライト、ハイテクフローリングつや消し40がおすすめです。

商品名	推奨ワックス
ビノアース レッドオークソリッド オークソリッド(F・DO色)	ハイテクフローリングコートつや消し40、 ノンブライト(共にリンレイ)
上記以外	ハイテクフローリングコート(リンレイ)

※**油性ワックス・ロウワックスは絶対に使用しないでください。**
(油性ワックスの上に樹脂ワックスを塗布した場合白化することがあります)

※化学雑巾は使用しないでください。(特にワックス塗布直前・塗布後は絶対に使用しないでください)

②天気の良い日を選び、窓を開けましょう

※雨天等で、湿度が極端に高いときは避けてください

※気温が低く床材表面が5℃以下での使用はお控えください

※床暖房用フローリングのお手入れは、床暖房のスイッチを切り、フローリング表面が冷えてから行ってください。床暖房中に作業を行うと、床暖房パネルの故障、フローリング表面のヒビ割れ、変色などの原因となります。

③汚れ落とし

(イ)床面のゴミ・ホコリ等を掃除機を使用して十分に取り除いてください

(ロ)床用洗剤(「マイペット」、「オール床クリーナー」等)を薄めた液を雑巾に含ませ、強く絞ってから拭いてください。

※施工後の床材の表面には、汚れ・油分が付着しているので、十分に洗浄をしてください。

※洗剤を使用する場合は、予め目立たないところで試験洗いをし異常のないことを確認してください。

※アルカリ性の強い洗剤は使用しないでください。

※**洗剤を、フローリング表面に多量に撒き散らしたり、多量に塗布しないでください。**

※スプレータイプの床用洗剤の場合は、雑巾に洗剤をスプレーして拭いてください。

(ハ)水を含ませ、強く絞った雑巾で**洗剤を完全に拭き取ってください。**

※洗剤の成分が床面に残るとワックスの密着が悪くなります。

※床材の目地にも洗剤が残らないようにきれいに拭き取ってください。

ワックスの塗布

①床が完全に乾いたら、きれいな雑巾にワックスを含ませ、木目に沿って**薄くムラ無く均一に**塗ってください。

※雑巾は汚れ落とし用とは別のものを使用してください。

※ワックスを十分に攪拌してください。

※フローリング表面に**撒き散らして塗布せず、また塗りすぎないでください。**

※床材の目地に、樹脂ワックスが溜まらないように注意してください。

※重ね塗りの場合、**前に塗ったワックスを必ず乾かしてから塗布してください。**

②乾燥するまで、ワックスを塗ったところを歩かないでください。



ご使用において

※ワックスは床材を保護しメンテナンスが容易にできる反面、塗料に比べ柔らかい性質のためご使用において、すり傷状に見えたり、光沢がおちてくることがあります。スリッパの底面はきれいにし、また重量物や椅子などを引きずらないようご注意ください。

※水がこぼれて、そのまま放置したり濡れた足で歩くと、白化したり剥がれる原因になります。すぐに乾いた雑巾で拭き取ってください。

フリーワックス製品に関して

フリーワックス製品に関してはワックス塗布は必要ありません。汚れや薬品による汚染、変色が発生しにくく、傷がつきにくい性能を有しています。(お客様の希望によりワックス塗布は可能ですが、化粧表面はワックスの塗布性能となります)

⚠ 注意

ワックスは使用を誤ると、べとついたり白化や粉化、変色、密着不良などの異常を起こす場合があります。必ず※印の注意事項を遵守してお手入れしてください。

ワックス剥離剤は製品の美観および品質をそこないます。絶対に使用しないでください。

※濃色系の床材は光沢の加減でワックスの擦り傷が目立つ場合があります。ご了承ください。

株式会社 **ウッドワン**

〒738-0023
広島県廿日市市下平良1-12-1

[商品相談窓口]

フリーダイヤル
0120-813-331

[受付時間] 平日8:30~17:00

[休日] 土日・祝日・GW・年末年始・夏期休暇

施工業者様用

〈施工説明書〉

KITOIROウォール

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



禁止

・屋内専用。

屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進む原因となります。



必ずおこなう

・開梱後は換気を行なう。

本製品はホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。

・接着剤と釘を併用する。

施工の際は必ず接着剤と併用して釘をお使いください。接着が甘いと脱落の原因となり危険です。

製品の 保管・管理

- ・照明灯・ストーブなどを近づけると熱により変色しますので、開梱後施工完了まで1メートル以上離してください。
- ・温湿度の変化によって反り、狂いが発生することがありますので、湿度の高いところでの保管は避けてください。
- ・雨に濡らすことはもちろん、梅雨時の保管場所にも注意してください。水漏れは、変色、カビ発生、割れ、反り等の原因となります。
- ・原則として平積みしてください。この場合、長さや幅によって、正しく棧を入れてください。ピッチは450mm以下として下さい。
- ・施工完了までは、立て掛けたりすると反りの発生原因となりますので、水平になるように保管してください。

施工の前に確認してください

■開梱

梱包を開いたら数量に不足及び損傷等の問題が無いかどうかを確認してください。当製品は木質製品です。輸送中・施工中の水漏れは厳禁です。開梱後、製品に水漏れ等の不具合があった場合には必ず施工前にお買い求め店または弊社までご連絡ください。また開梱後は速やかに施工してください。開梱後の製品吸湿には十分注意して施工をお願いします。

■仮並べ

KITOIROウォールは木材を使用していますので、色や木目が異なります。施工前に色及び柄合わせをしてから施工してください。

■施工用部材の準備

お願い

KITOIROウォールの取り付けの際には
必ず当社指定接着剤を 使用して下さい。



ウッドワン専用接着剤

品番：ZX0223

接着剤タイプ：ウレタン系一液接着剤

※1本あたり20枚程度の施工が可能です。
(152mm幅の場合)

その他推奨指定接着剤

メーカー：コニシ(株)

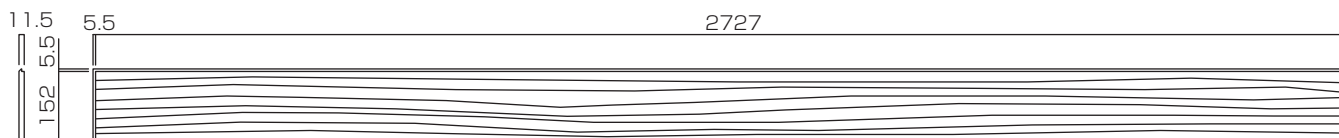
品番：ボンドKU928C-X

接着剤タイプ：ウレタン系一液接着剤

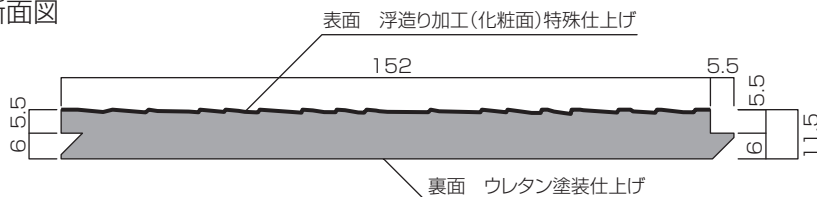
商品仕様

内装壁材 KITOIRO ウォール

製品サイズ:2727×152×11.5/mm 梱包入り数:4枚/1枚

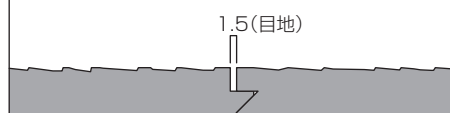


断面図



※浮造り加工(木目を立体的に浮き立たせた凹凸仕上げ)

接合部



※1.5mmの目地は木材のため、収縮する場合があります。

施工手順

1 壁下地の確認

- [1] 下地材の選定及び構造について、必ず建築基準法や火災予防条例などの法令・法規に適合したものであるかご確認ください。
- [2] 濡れ、湿気、結露等がある下地には使用できません。
- [3] RC、モルタル、ALCへの直貼りはできません。

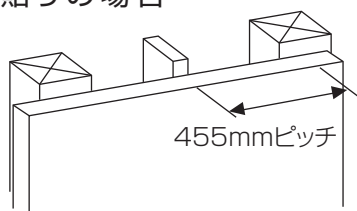
施工可能な下地の例

- 石膏ボード(推奨:12.5mm以上)
- 合板(推奨:9mm以上)

※上記の下地の場合でも、化粧材の施工部分の塗装などの仕上げが施されると、接着不良によるはがれが発生する可能性がありますので、ご注意ください。

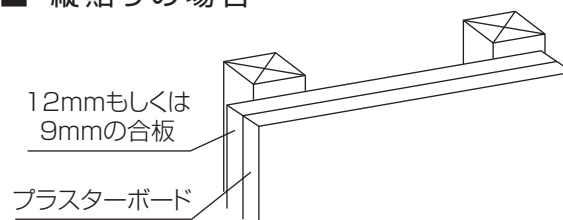
2 壁下地の準備

■ 横貼りの場合



柱・間柱等を455mmピッチで設置し、プラスターボード等を張って壁下地を作ってください。

■ 縦貼りの場合

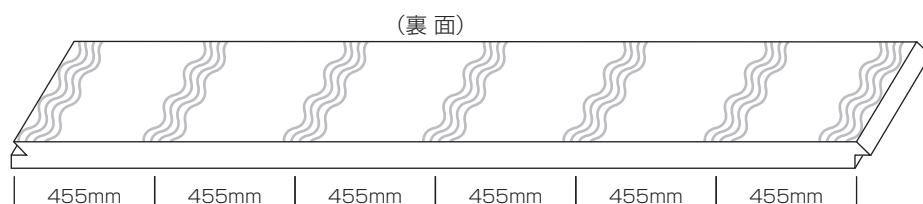


縦張り時には12mmもしくは9mmの合板を捨て張りし、その上にプラスターボードを張って下さい。

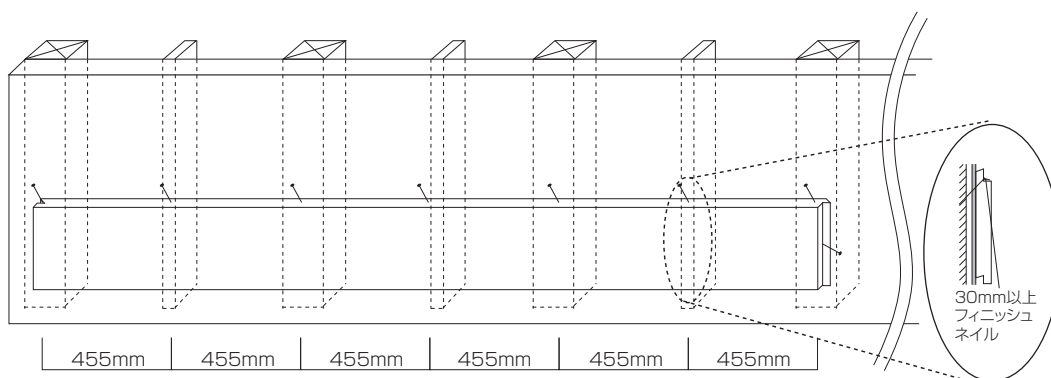
3 KITOIROウォールの取り付け

■ 横貼りの場合

[1] 裏面へ当社指定接着剤を455mmピッチで塗布してください。

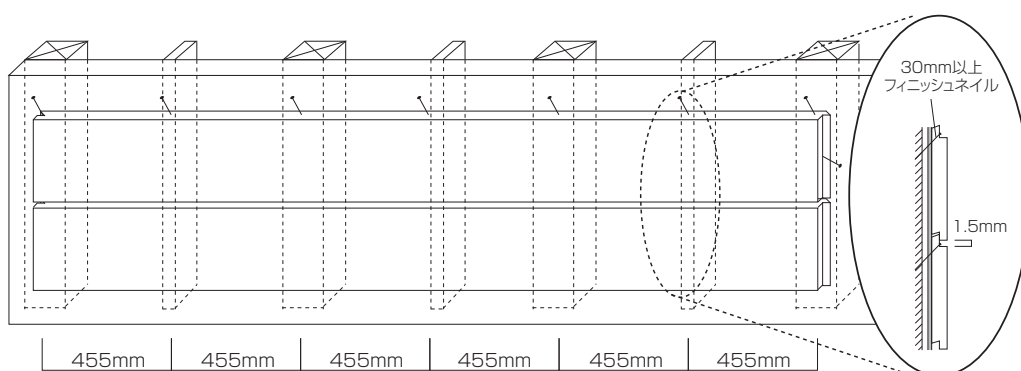


[2] サネ部分に長さ30mm以上のフィニッシュネイル(現地調達)で壁下地に向けて打ち込んでください。
この場合、柱や間柱がある部分に必ず打ちこんでください。(ピッチは455mm以下で)



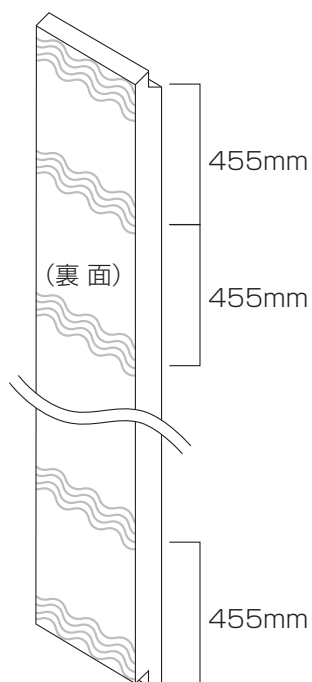
[3] ジョイント部の施工について

1枚目と同じようにサネ部分に30mm以上のフィニッシュネイル(現地調達)を壁下地に向けて打ち込んで下さい。その際ジョイント部分に1.5mmの目透しが出きます。

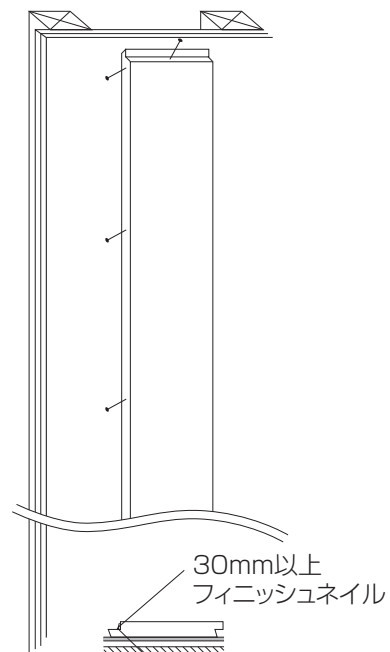


■ 縦貼りの場合

[1]裏面へ当社指定接着剤を455mmピッチで塗布してください。

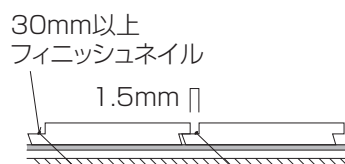


[2]長さ30mm以上のフィニッシュネイル(現地調達)で壁下地に向けて打ち込んでください。
(ピッチは455mm以下で)



[3]ジョイント部の施工について

1枚目と同じようにサネ部分に30mm以上のフィニッシュネイル(現地調達)を壁下地に向けて打ち込んで下さい。その際ジョイント部分に1.5mmの目透しが出きます。



施 工 業 者 様 用

〈 施 工 説 明 書 〉

株式会社 **ウッドワン**

〒738-0023
広島県廿日市市下平良1-12-1

[商品相談窓口]

フリーダイヤル
0120-813-331

[受付時間] 平日8:30~17:00

[休日] 土日・祝日・GW・年末年始・夏期休暇

KITOIROスクエアパネル

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



禁止

・屋内専用。

屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進む原因となります。

・RC、ALCへの直貼りはできません。

・下地材の選定及び構造について、必ず建築基準法や火災予防条例などの法令・法規に適合したものであるかをご確認ください。

・濡れ、湿気、結露等がある下地には使用できません。



必ずおこなう

・開梱後は換気を行なう。

本製品はホルムアルデヒドVOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。

・接着剤や両面テープの粘着剤面を皮膚に接触させないでください。

製品の

保管・管理

・立て掛け、地面やコンクリート床に直置きせず、パレット等の上に平積みしてください。

・製品の上に物を置いたり、踏んだりしないでください。

・雨水等、水がかりする場所や直射日光の当たる場所、低温(5℃以下)、高温(90%以上)での環境下で保管はしないでください。

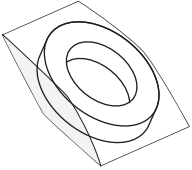
施工の前に確認してください

■開梱

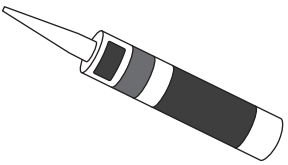
梱包を開いたら数量に不足及び損傷等の問題が無いかどうかを確認してください。当製品は木質製品です。輸送中・施工中の水漏れは厳禁です。開梱後、製品に水漏れ等の不具合があった場合には必ず施工前にお買い求め店または弊社までご連絡ください。また開梱後は速やかに施工してください。開梱後の製品吸湿には十分注意して施工をお願いします。

■施工用部材の準備

[1] 固定用両面テープ

	1巻(1mm×幅25mm×長さ10m) ZHWTR1-5(5巻入) ZHWTR1-1(1巻入) ※両面テープ1本で スクエアパネル10枚施工可
---	---

[2] 壁施工用接着剤

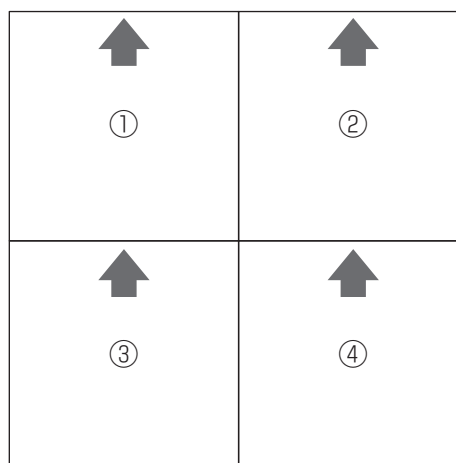
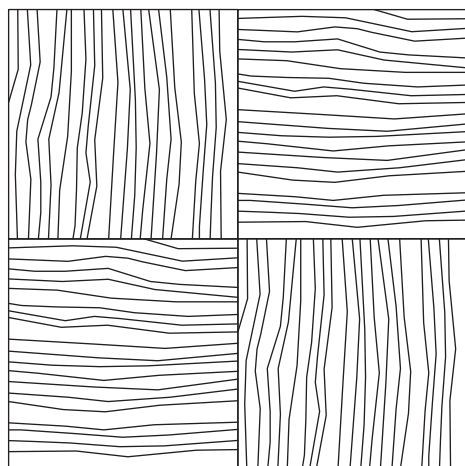
	ZXWF10(10本入) ZXWF01(1本入) 接着剤タイプ:変成シリコン系接着剤 ※目安:接着剤1本で スクエアパネル8枚施工可
--	--

梱包内容

4枚1組

名称	数量
スクエアパネル	4枚
隙間ゲージ	1枚(2枚分)

※1枚梱包には隙間ゲージは1枚付属。

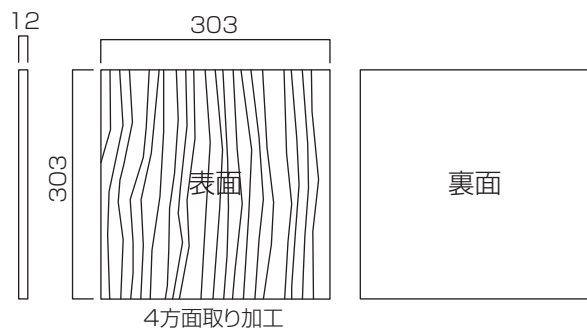


※梱包は4枚一組で上記図の様に表面の木目を市松模様で組み合わせると、全体の柄が揃う仕様となります。

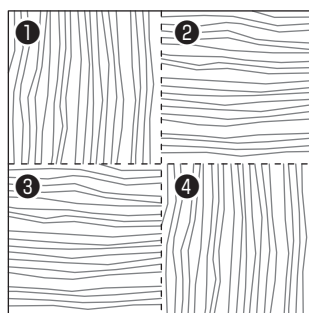
※但し、カラーシリーズ(単色)には矢印・番号表示(裏面)はありません。

商品仕様

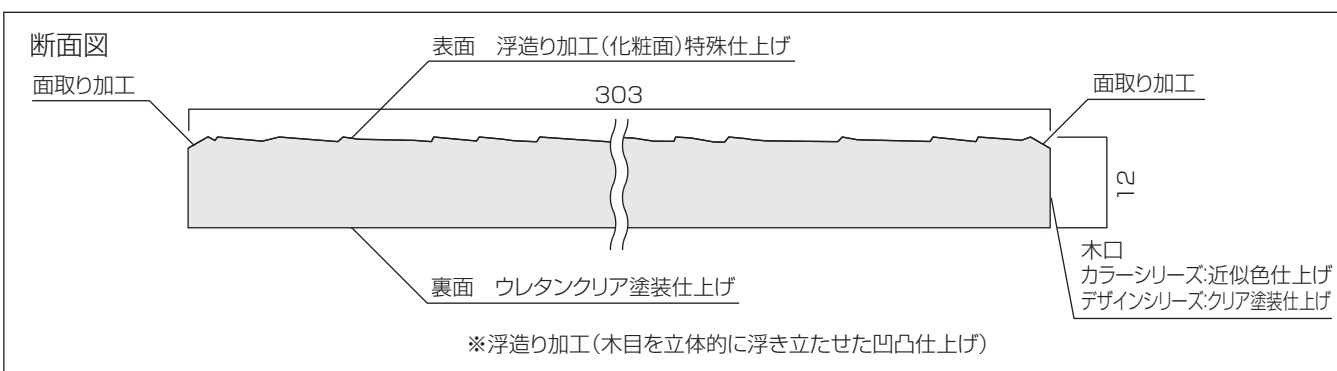
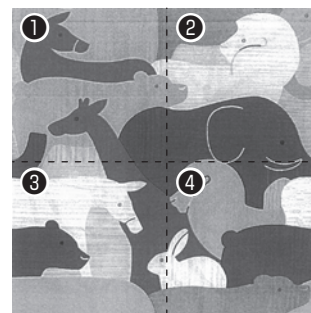
内装壁材 KITOIRO スクエアパネル
製品サイズ:303×303×12mm



梱包入り数:4枚(カラー)



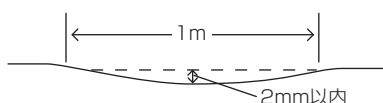
梱包入り数:4枚(デザイン)



施工手順

1 下地の確認

- [1] 下地材の選定及び構造について、必ず建築基準法や火災予防条例などの法令・法規に適合したものであるかをご確認ください。
- [2] 濡れ、湿気、結露等がある下地には使用できません。
- [3] RC、ALC、モルタルへの直貼りはできません。
- [4] 下地の不陸は1mあたり2mm以内としてください。



施工可能な下地の例

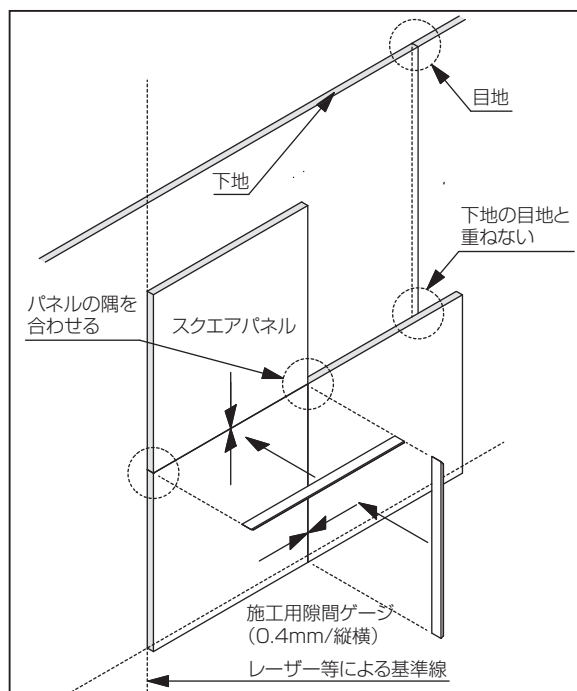
- 石膏ボード(推奨:12.5mm以上)
- 合板(推奨:9mm以上)

※上記の下地の場合でも、化粧材の施工部分に塗装などの仕上げが施されると、接着不良によるはがれが発生する可能性がありますので、ご注意ください。

2 割り付け

- [1] 製品に柄がある場合は必ず仮並べをして柄合わせの確認をしてください。
- [2] 貼り始めとなる基準線を決め、墨出しをしてください。
- [3] 図の様に下地の目地と壁材の目地が重ならないように割り付けてください。

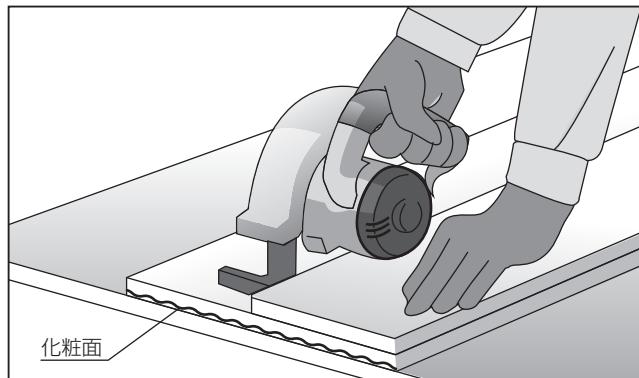
※必ず、付属の施工用隙間ゲージを使用してください。



3 カット加工

スクエアパネルをカットする場合には、**必ず化粧面にマスキングテープを貼付し、化粧面の裏からカットしてください。**

※マスキングテープを使用しない場合、本体が欠けるおそれがあります。



※化粧面に養生はされておりませんので、カット時に化粧面がキズ付かないようにご配慮ください。

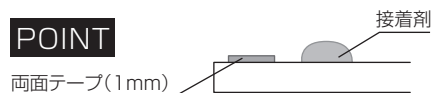
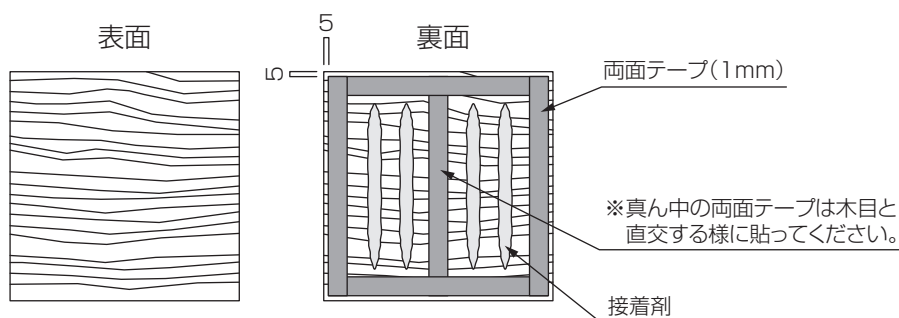
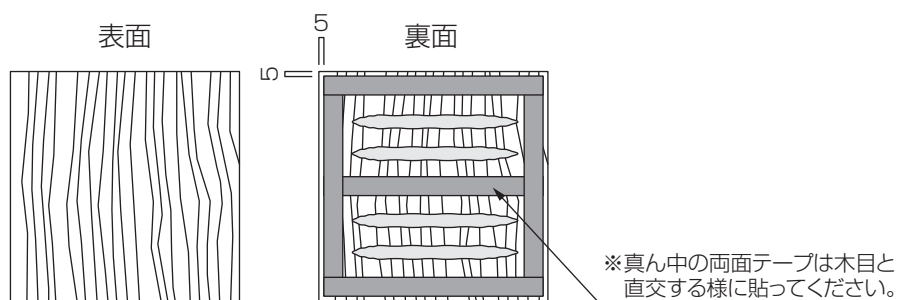
4 両面テープ貼りと接着剤塗布

図の様にスクエアパネルの裏側に両面テープと接着剤を塗布してください。両面テープは端から5mm離し、しっかりと圧着してください。接着剤は太さ7mmで、直線で塗布してください。

※スクエアパネルの施工は必ず、当社指定の接着剤と両面テープをご使用ください。

※接着剤塗布後は必ず10分以内に貼り付け圧着してください。

※床面に直接当たらないよう、見切り材や巾木などをお使いください。



接着剤の塗布高は、両面テープ(1mm)よりも高くなるようにしてください。

5 壁下地へ取り付け

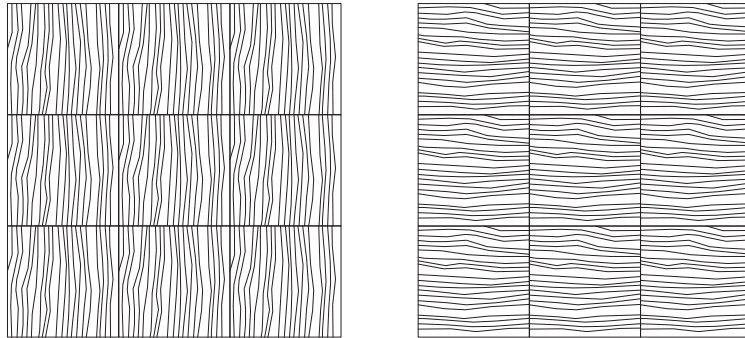
スクエアパネルは市松模様になる様に取り付けてください。

また、必要に応じて水平器などを使用して位置決めをしてください。

※施工の際には、必ず隙間ゲージを使用してください。

禁 止

下記図のように壁材を同じ木目方向に揃えて施工しないでください。
スキマ、突き上げ発生の原因となります。



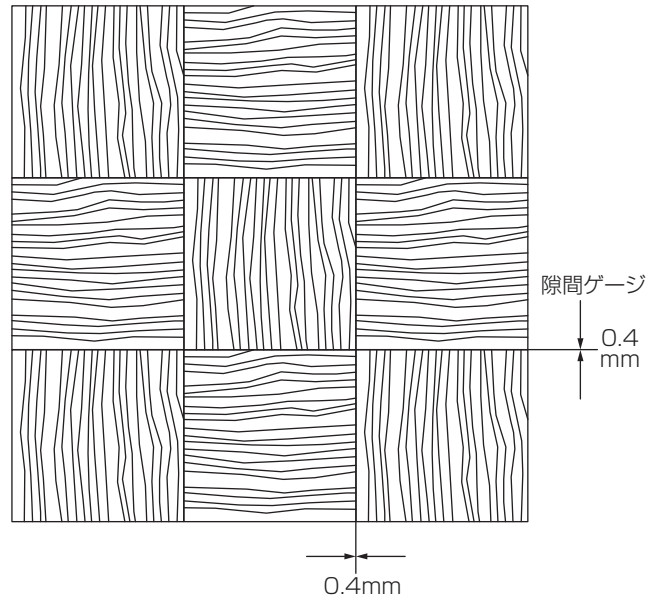
■カラーシリーズの場合

下記図のように壁材を市松模様で施工してください。

※必要枚数を発注してください。

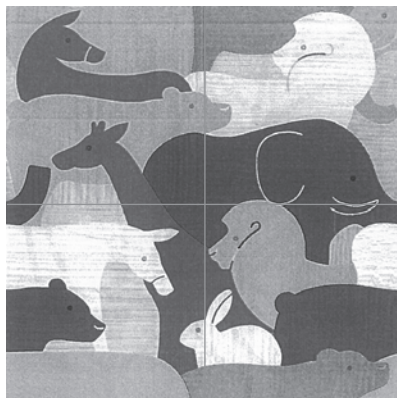
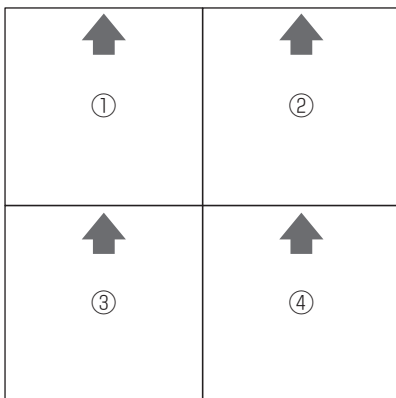
(例)9枚施工の場合3セット必要となります。

(3枚は使用しません)



■デザインシリーズの場合(4枚1セットで発注)

裏面に記載された矢印・番号表示にならって施工してください。



※4枚で1リピートの柄です。

(例)9枚施工の場合(4枚1セット)、
4セット必要になります。(16枚)
7枚は使用しません。壁材は絵柄
が揃う様に施工してください。

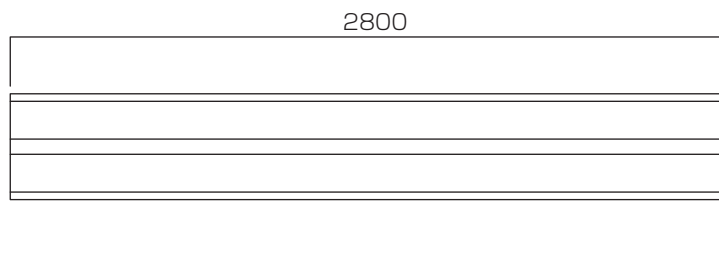
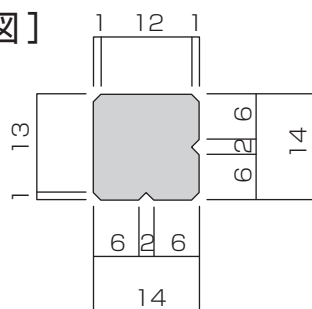


6 見切り材の取り付け

製品サイズ:2800×14×14mm 梱包入り数:1本

※見切り材を使用する場合も、本体同士の施工同様、隙間ゲージを使用して施工してください。

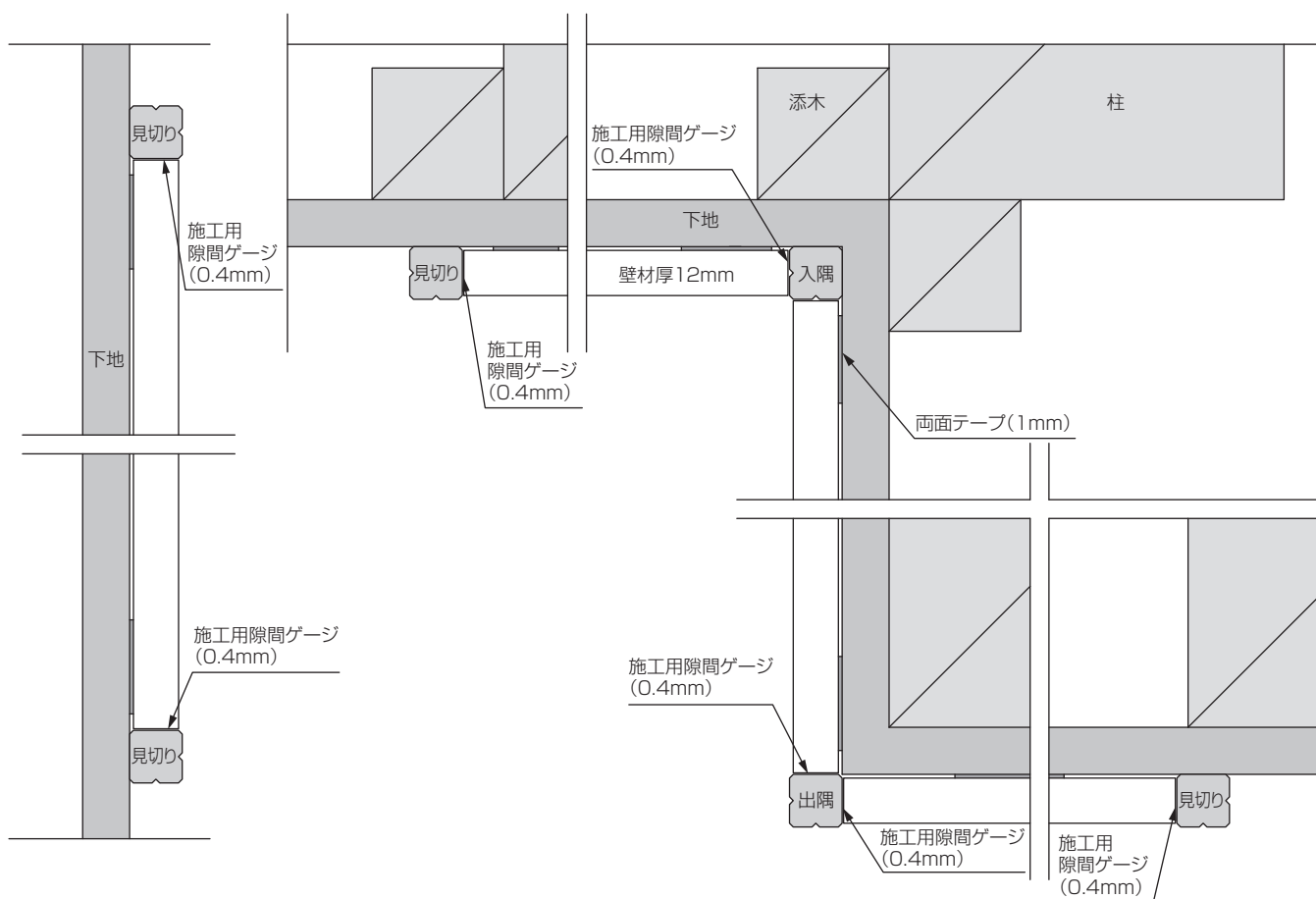
〔断面図〕



見切材はピンネイルと当社指定接着剤を併用して取り付けてください。

使用側面図

使用平面図



7 施工終了後

[1] 養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。ガムテープ等粘着力の高いテープなどは直接商品に貼り付けないようにしてください。

「2」お手入れのしかた

製品が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を固くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナーなどの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

またナイロンタワシやスチールウール、研磨剤入りスポンジ、研磨剤入り洗剤などはキズの原因となりますので、ご使用しないでください。

なお、KITOIROスクエアパネルは無垢材のため、水分変化で伸び縮みする特性があります。

冷暖房等により、製品が過乾燥するとパネルの継ぎ目に隙間が生じる場合があります。

隙間を低減するため、乾燥しやすい環境では加湿器の併用をおすすめします。

株式会社 **ウッドワン**

〒738-0023
広島県廿日市市下平良1-12-1

[商品相談窓口]

フリーダイヤル
0120-813-331

[受付時間] 平日8:30~17:00

[休日] 土日・祝日・GW・年末年始・夏期休暇

施工業者様用

〈施工説明書〉

KITOIROスクエアパネル (やとい実仕様)

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



禁止

・屋内専用。

屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進む原因となります。

・RC、ALCへの直貼りはできません。

・下地材の選定及び構造について、必ず建築基準法や火災予防条例などの法令・法規に適合したものであるかをご確認ください。

・濡れ、湿気、結露等がある下地には使用できません。



必ずおこなう

・開梱後は換気を行なう。

本製品はホルムアルデヒドVOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。

・接着剤の粘着剤面を皮膚に接触させないでください。

製品の

保管・管理

・立て掛け、地面やコンクリート床に直置きせず、パレット等の上に平積みしてください。

・製品の上に物を置いたり、踏んだりしないでください。

・雨水等、水がかりする場所や直射日光の当たる場所、低温(5℃以下)、高温(90%以上)での環境下で保管はしないでください。

施工の前に確認してください

■開梱

梱包を開いたら数量に不足及び損傷等の問題が無いかどうかを確認してください。当製品は木質製品です。輸送中・施工中の水漏れは厳禁です。開梱後、製品に水漏れ等の不具合があった場合には必ず施工前にお買い求め店または弊社までご連絡ください。また開梱後は速やかに施工してください。開梱後の製品吸湿には十分注意して施工をお願いします。

■施工用部材の準備

[1] 壁施工用接着剤

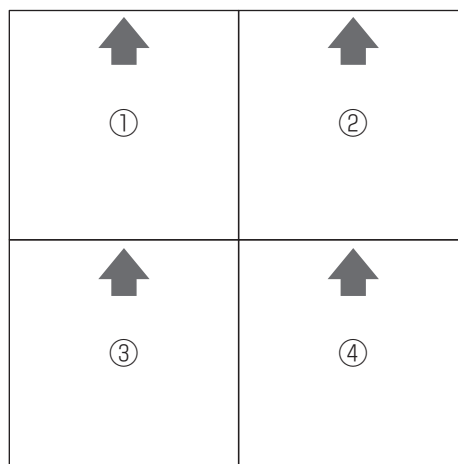
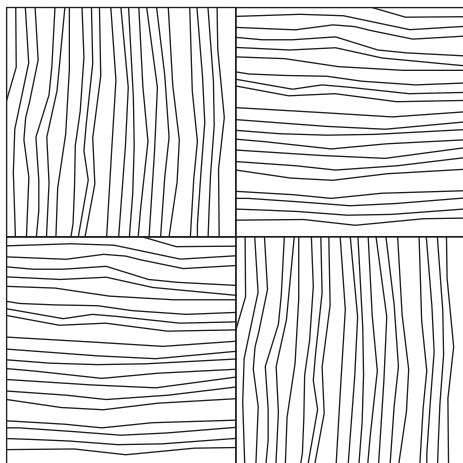


梱包内容

4枚1組

名称	数量
スクエアパネル	4枚
隙間ゲージ	1枚(2枚分)
やとい実	8枚

※1枚梱包には隙間ゲージは1枚付属。

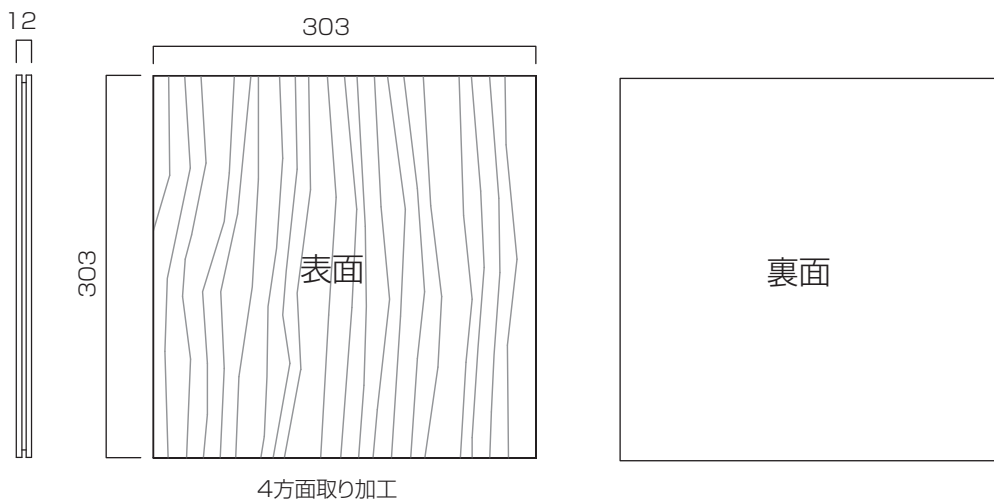


※梱包は4枚一組で上記図の様に表面の木目を市松模様で組み合わせると、全体の柄が揃う仕様となります。

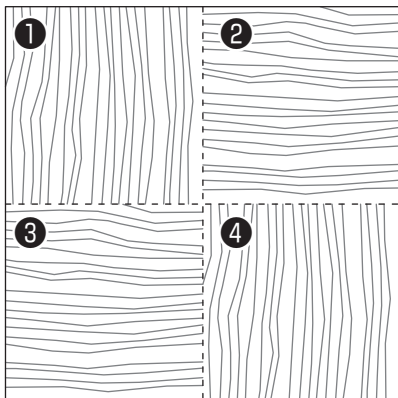
※但し、カラーシリーズ(単色)には矢印・番号表示(裏面)はありません。

商品仕様

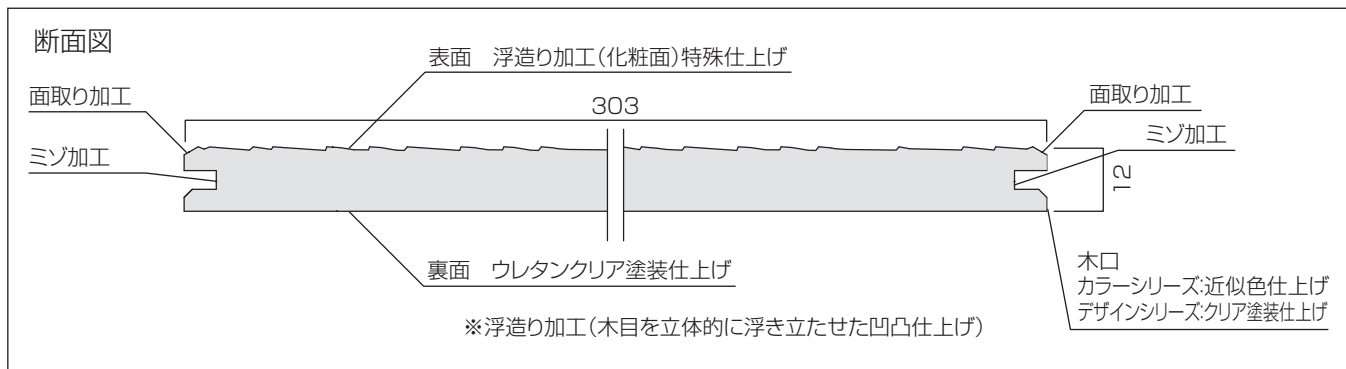
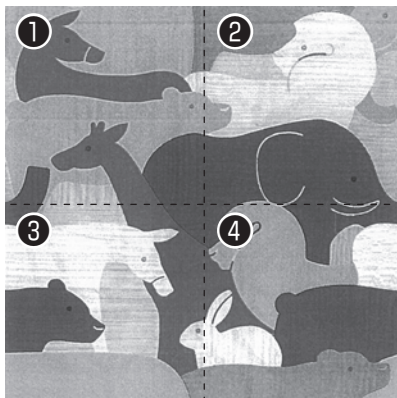
内装壁材 KITOIRO スクエアパネル 製品サイズ:303×303×12mm



梱包入り数:4枚(カラー)



梱包入り数:4枚(デザイン)



施工手順

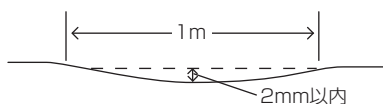
1 下地の確認

[1] 下地材の選定及び構造について、必ず建築基準法や火災予防条例などの法令・法規に適合したものであるかをご確認ください。

[2] 濡れ、湿気、結露等がある下地には使用できません。

[3] RC、ALC、モルタルへの直貼りはできません。

[4] 下地の不陸は1mあたり2mm以内としてください。



施工可能な下地の例

- 石膏ボード(推奨:12.5mm以上)
- 合板(推奨:9mm以上)

※上記の下地の場合でも、化粧材の施工部分に塗装などの仕上げが施されると、接着不良によるはがれが発生する可能性がありますので、ご注意ください。

2 割り付け

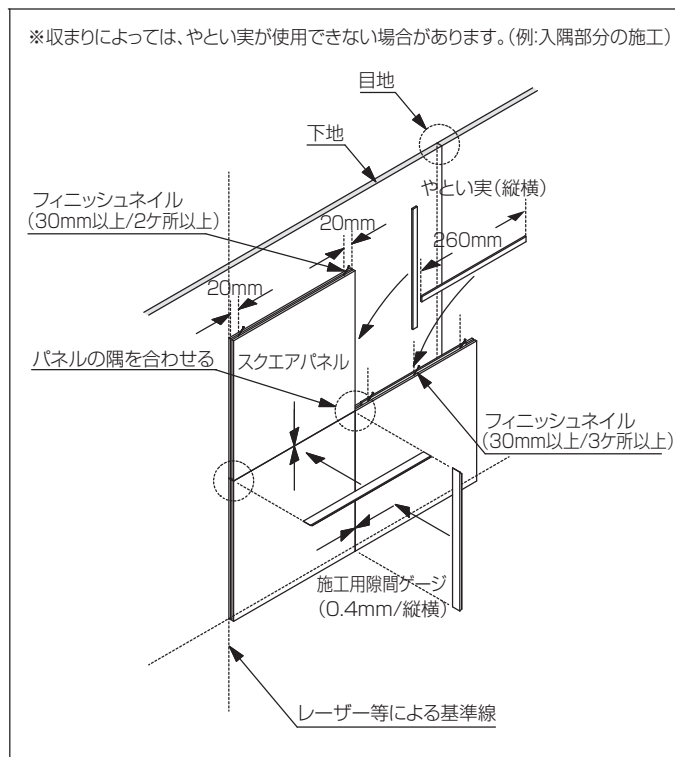
[1] 製品に柄がある場合には必ず仮並べをして柄合わせの確認をしてください。

[2] 貼り始めとなる基準線をレーザー等で決め、墨出しをしてください。

[3] 図の様に下地の目地とスクエアパネルの目地が重ならない様に割り付けてください。

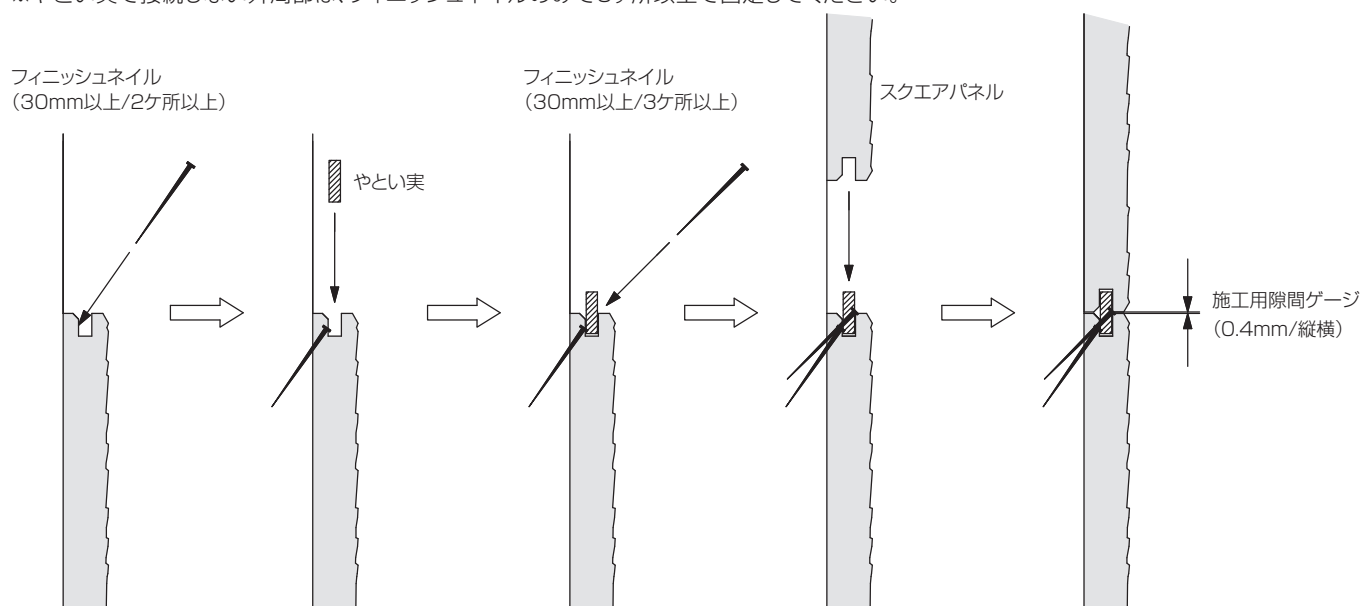
※必ず、付属の施工用隙間ゲージを使用し、スクエアパネルの隅を合わせて施工してください。

※やとい実（※）はスクエアパネルの辺の中央に取り付け、四方のやとい実（※）が干渉しない様にしてください。



施工手順イメージ（スクエアパネル四方を下記手順で固定する）

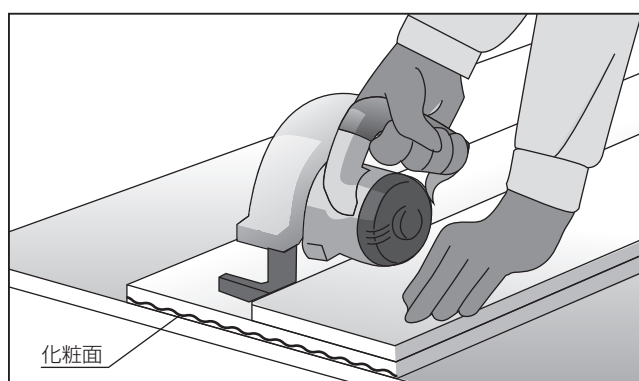
※やとい実（※）で接続しない外周部は、フィニッシュネイルのみで5ヶ所以上で固定してください。



3 カット加工

スクエアパネルをカットする場合には、必ず化粧面にマスキングテープを貼付し、化粧面の裏からカットしてください。

※マスキングテープを使用しない場合、本体が欠けるおそれがあります。



※化粧面に養生はされておきませんので、カット時に化粧面がキズ付かないようにご注意ください。

4 接着剤塗布

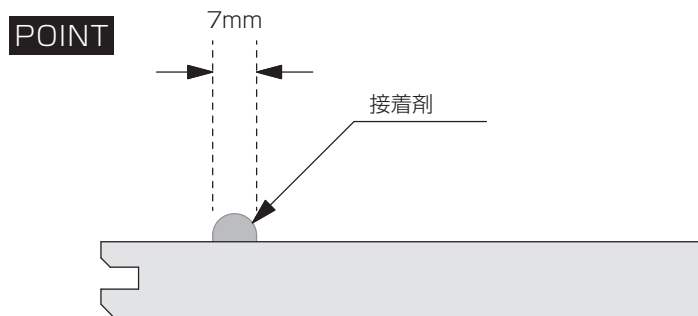
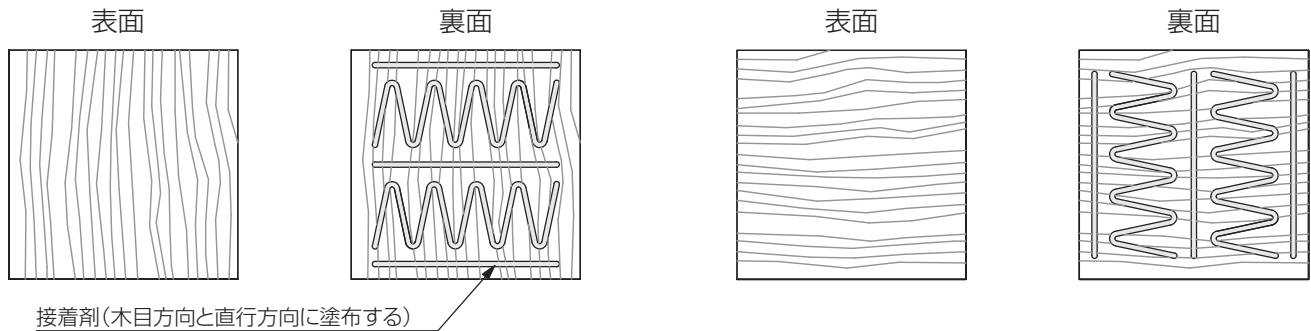
図の様にスクエアパネルの裏側に接着剤を塗布してください。

接着剤は直径7mmで塗布してください。

※スクエアパネルの施工は必ず、当社指定の接着剤をご使用ください。

※接着剤塗布後は必ず10分以内に貼り付け圧着してください。

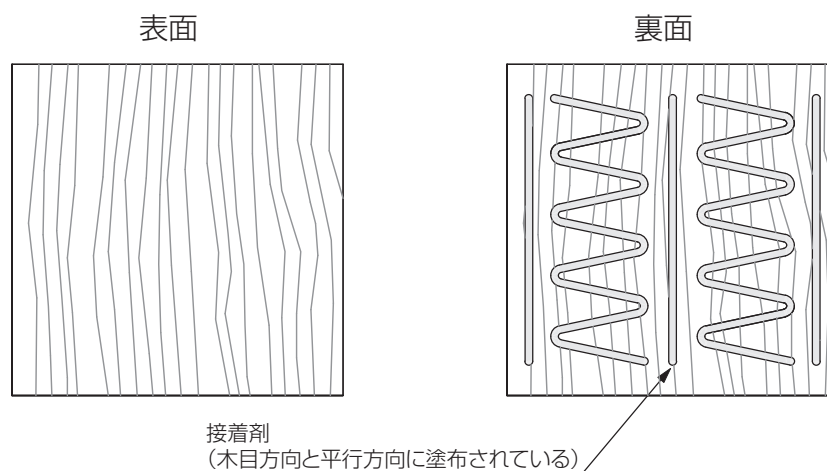
※床面に直接当たらないよう、見切り材や巾木などをお使いください。



※接着剤はパネルの裏側に太さ7mmで、必ず木目と直行に塗布してください。

禁止

下図のように裏面に接着剤を塗布する場合、木目と平行方向に塗布しないでください。木材の膨張・収縮によりパネルが破損する恐れがあります。



5 壁下地へ取り付け

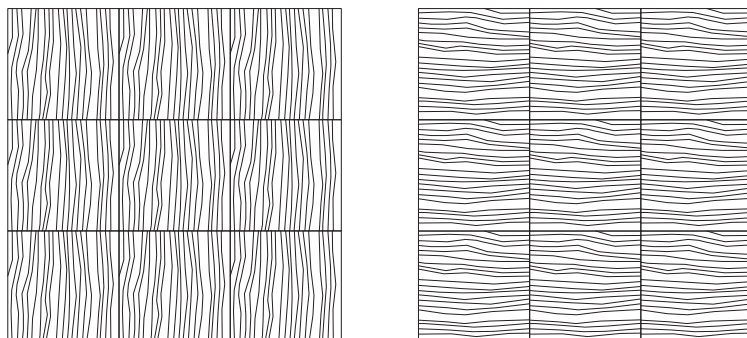
スクエアパネルは市松模様になる様に取り付けてください。

また、必要に応じて水平器などを使用して位置決めをしてください。

※施工の際には、必ず隙間ゲージを使用してください。

禁 止

下記図のように壁材を同じ木目方向に揃えて施工しないでください。
スキマ、突き上げ発生の原因となります。



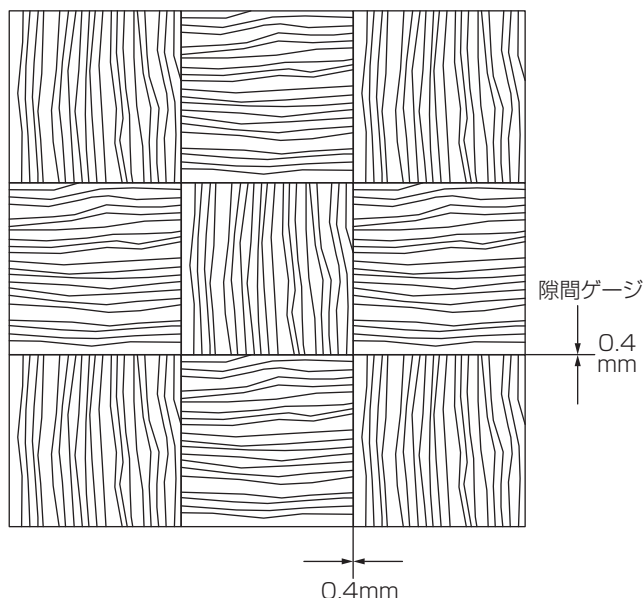
■カラーシリーズの場合

下記図のように壁材を市松模様で施工してください。

※必要枚数を発注してください。

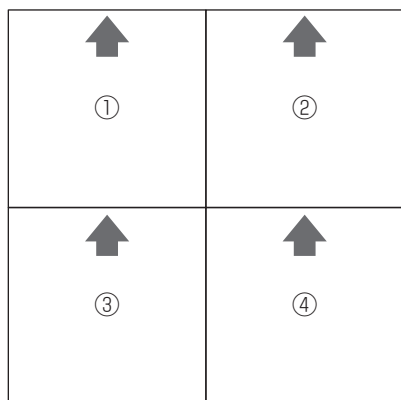
(例)9枚施工の場合3セット必要となります。

(3枚は使用しません)



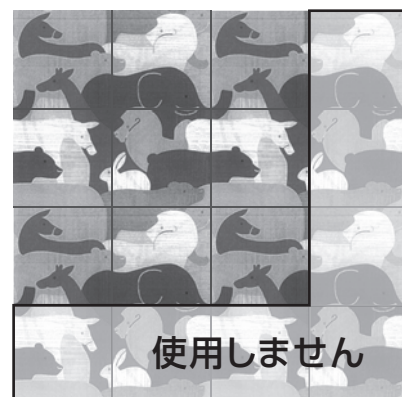
■デザインシリーズの場合(4枚1セットで発注)

裏面に記載された矢印・番号表示にならって施工してください。



※4枚で1リピートの柄です。

(例)9枚施工の場合(4枚1セット)、
4セット必要になります。(16枚)
7枚は使用しません。壁材は絵柄
が揃う様に施工してください。

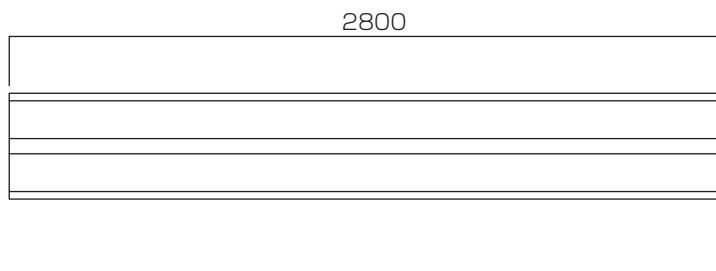
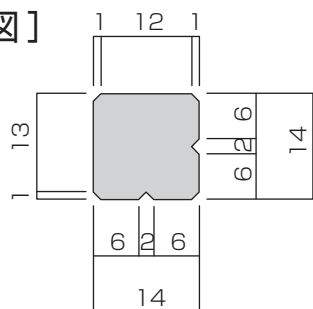


6 見切り材の取り付け

製品サイズ:2800×14×14mm 梱包入り数:1本

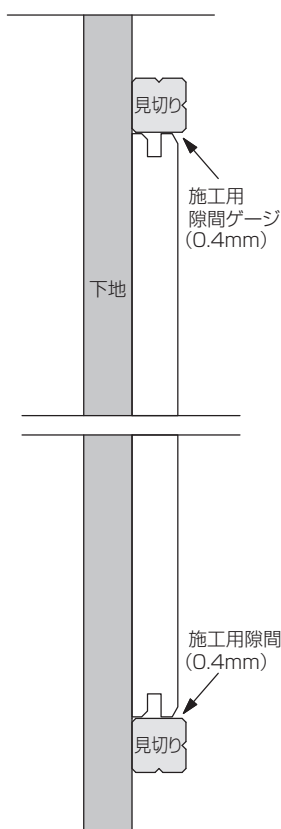
※見切り材を使用する場合も、本体同士の施工同様、隙間ゲージを使用して施工してください。

〔断面図〕

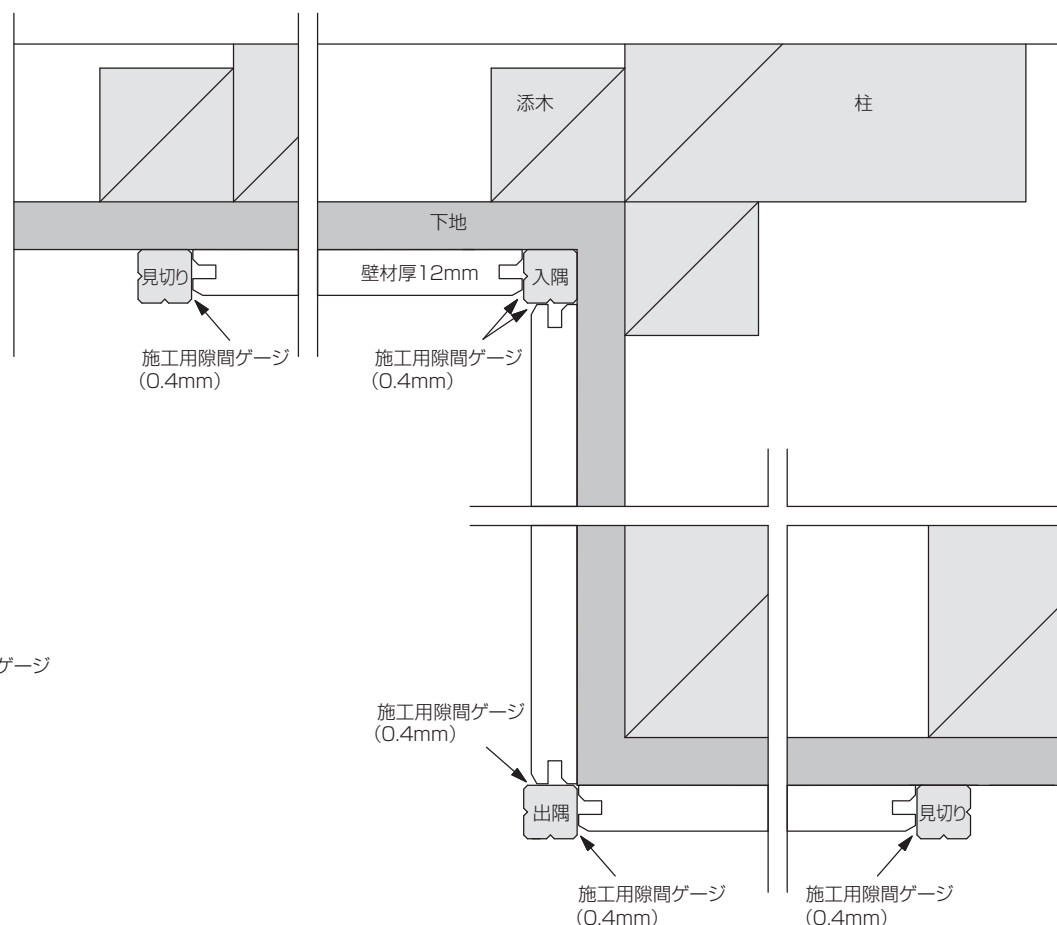


見切り材はピンネイルと当社指定接着剤を併用して取り付けてください。

使用側面図



使用平面図



7 施工終了後

〔1〕養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。ガムテープ等粘着力の高いテープなどは直接商品に貼り付けないようにしてください。

〔2〕お手入れのしかた

製品が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を固くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナーなどの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

またナイロンタワシやスチールワール、研磨剤入りスポンジ、研磨剤入り洗剤などはキズの原因となりますので、ご使用しないでください。

なお、KITOIROスクエアパネルは無垢材のため、水分変化で伸び縮みする特性があります。

冷暖房等により、製品が過乾燥するとパネルの継ぎ目に隙間が生じる場合があります。

隙間を低減するため、乾燥しやすい環境では加湿器の併用をおすすめします。

株式会社 **ウッドワン**

〒738-0023
広島県廿日市市下平良1-12-1

[商品相談窓口]

フリーダイヤル
0120-813-331

[受付時間] 平日8:30~17:00

[休日] 土日・祝日・GW・年末年始・夏期休暇

施工業者様用

〈施工説明書〉

デザイン長押

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



警告

使用に際して以下の注意が守られない場合、人が死亡または重症を負うおそれがあります。確実にお守り下さい。

・はさまれ注意!

部材と部材のあいだに、体の一部が入っている状態で施工をすると、ケガをする場合がありますのでご注意ください。



注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



禁止

・屋内専用です。

屋外や浴室に使用すると、湿気、雨漏れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進み、脱落の原因となり危険です。

・ぶら下がり禁止!

長押にお子様かぶら下がったり、上に乗って遊んだりすると、板が破損したり、脱落してケガの原因となりますので絶対にしないでください。



必ずおこなう

・輸送・保管は慎重に!

輸送の際には、荷崩れや衝撃に十分注意してください。また、保管時には水平な場所に平積みしてください。

・間柱・補強材等の下地処理

デザイン長押は、壁面に直接固定するため、間柱・補強材などの下地処理が不十分ですと転倒、脱落してケガの原因となりますので、所定の位置に躯体下地の準備をしてください。

・開梱後は換気を行ってください。

本製品はホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので施工中、使用中は適宜、換気を行うようにしてください。

・下地材の取り付けは確実に固定してください。

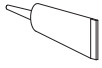
化粧造作部材が落下して、ケガの原因となりますので、下地材の取り付けは壁面より、柱・間柱に確実にビス等で固定してください。

施工の前に確認してください

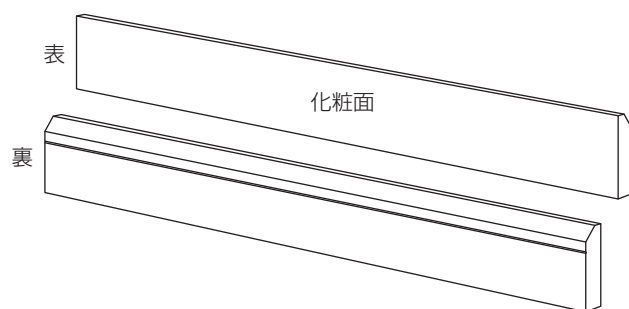
■開梱

梱包を開いたら数量に不足及び損傷等の問題が無いかどうかを確認してください。当製品は木質製品です。輸送中・施工中の水漏れは厳禁です。開梱後、製品に水漏れ等の不具合があった場合には必ず施工前にお買い求め店または弊社までご連絡ください。また開梱後は速やかに施工してください。開梱後の製品吸湿には十分注意して施工をお願いします。

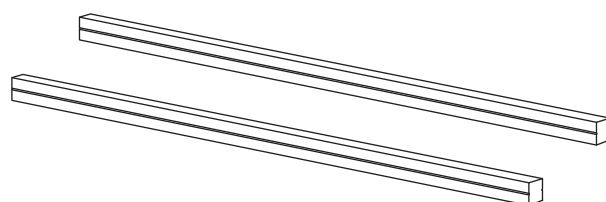
梱包内容

	商品サイズ 名称	3尺 (900)	6尺 (1,840)	9尺 (2,730)
	長押本体	1本	1本	1本
	取付棧木	2本 L=860	2本 L=1,800	2本 L=2,690
	本体+取付棧木 取付ビス 皿ビス Φ3.3×35	3本	5本	7本
	壁下地+取付棧木 取付ビス 皿ビス Φ4.2×69	3本	5本	7本
	本体棧木+取付棧木 取付ビス 平頭ビス Φ3.5×50	3本	5本	7本
	接着剤	1本	1本	1本
	ボードアンカー	3個	5個	7個

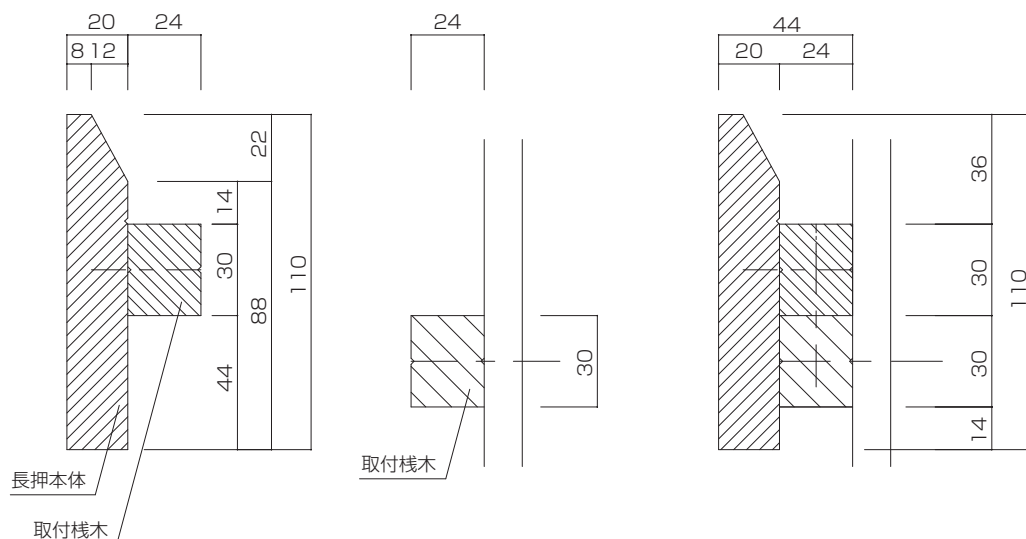
●長押本体(厚み20mm 幅110mm)



●取付棧木(厚み24mm 幅30mm)



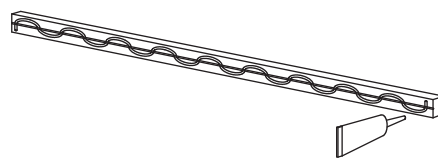
商品仕様



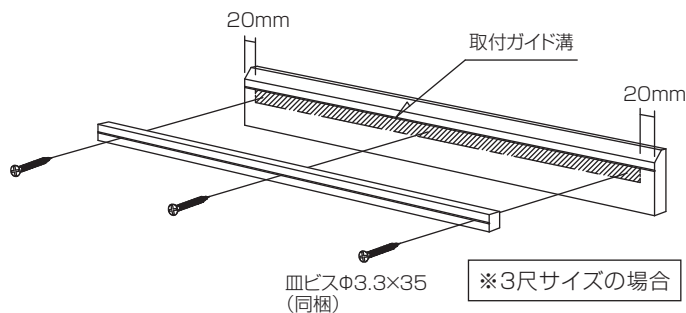
施工手順

1 長押本体と取付桟木の取り付け

[1] 長押本体に取付桟木を1本取り付けます。取り付けの際に、同梱の接着剤を取付桟木の片面に塗布してください。



[2] 長押本体の裏面に、取付桟木を取り付けます。長押本体の裏面に、取付ガイド溝が付けてあります。その溝を、取付桟木の上面に合わせ同梱のビスで止めます。取付桟木の取付位置は、両側20mm控えてください。各サイズのビス止の推奨位置は次ページ「各部材寸法ごとの推奨ビス位置」をご確認ください。



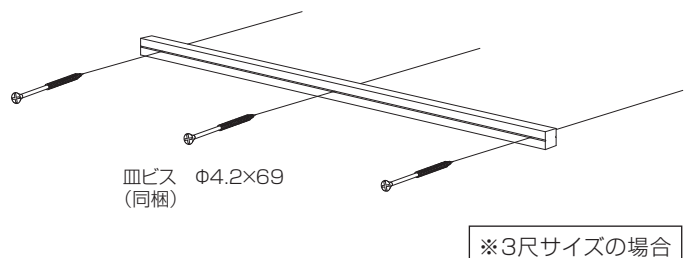
⚠ 作業時の注意

ビスで取り付ける作業時にインパクトドライバー等で取付桟木に深く打ち過ぎると長押本体の化粧面まで飛び出す可能性がありますので、ご注意ください。

2

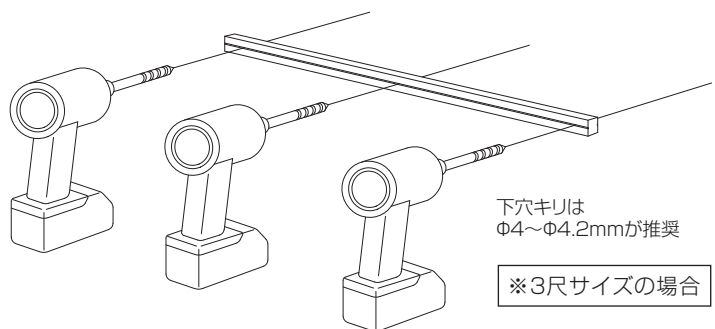
[1] 壁下地と取付桟木の取り付け

壁下地に取付桟木を同梱のビスで確実に取り付けます。取付桟木は平行になるよう水平器などを使用し位置決めをお願いします。下地は、ピンタイプの下地探しや下地センサーで御確認をお願いします。各サイズの推奨の取り付け位置は次ページ「各部材寸法ごとの推奨ビス位置」をご確認ください。



[2] プラスターボードと取付桟木の取り付け

① 取付桟木を取り付けようとする場所に、間柱か合板などの下地材があるか確認してください。木下地が無い場合、同梱の石膏ボード用の「ボードアンカー」を使用します。軽天のスタッドに取り付ける場合は、軽天用ビスを現場調達してください。(同梱していません) 下地に不陸がある場合はフラットになるように調整して下さい。



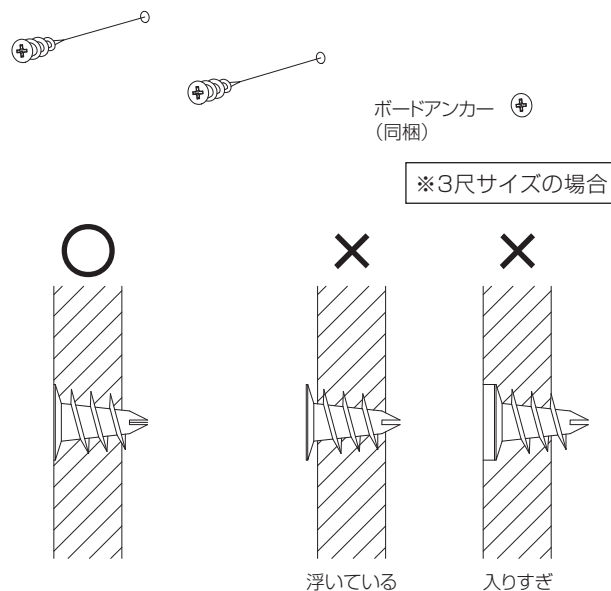
② ボードアンカーの取り付け位置を決めるため下穴を開けます。取付桟木とボードアンカーの位置を合わせるため、取付桟木を取り付ける予定の場所に仮設置します。水平器などを使用して位置決めをお願いします。インパクトドライバーなどで壁にも下穴が開くように、取付桟木に貫通穴を開けてください。下穴はΦ4～Φ4.2mmが推奨です。

軽天スタッド又は石膏ボード下地に施工する場合は
3尺サイズ:3点、6尺サイズ:5点、9尺サイズ:7点で桟木を固定して下さい。

- ③仮付けした取付桱木を取り外します。壁に下穴が開いているか確認してください。
下穴に「ボードアンカー」を手回しの+ドライバー取り付けてください。
締め付ける力が強い、インパクトドライバーや電動ドライバーの使用はしないでください。

⚠ 作業時の注意

石膏ボードアンカーは、取り付けの際にアンカー上面がプラスターボード表面とフラットになるよう取り付けてください。アンカー上面がプラスターボード表面より出ていると、取り付け用皿ビスが空回りして桱木が確実に固定できません。また、壁と桱木に隙間ができると接着剤を塗布しても接着の効果が得られず、落下につながる危険性があります。

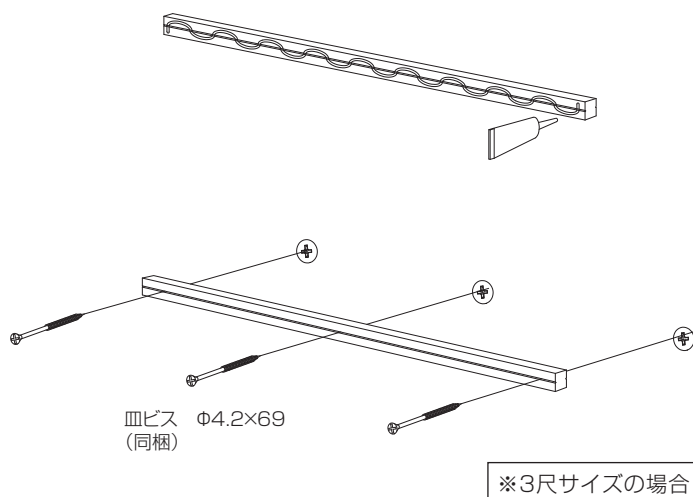


- ④下穴を開けた取付桱木の壁に密着する面に同梱の接着剤を塗布してください。
使用時の不慮の脱落を防ぐため、取り付ける壁面のクロスを部分的にはがして施工して下さい。
(クロスの材質によっては接着が不十分になることがあります。)

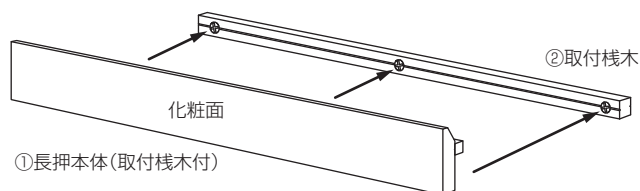
- ⑤壁面に取付桱木を、埋め込んだボードアンカーの位置を確認しながら確実に取り付けます。
締め付ける力が強い、インパクトドライバーや電動ドライバーの使用はしないでください。
締め付けすぎると皿ビスが空回りし強度が得られません。

⚠ 作業時の注意

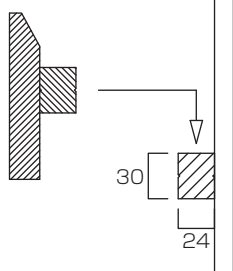
[4]で塗布した接着剤が壁面に確実に付着するようにしてください。
長押本体を取り付ける前に、接着剤が乾くまで半日程度、時間を空けてください。



3 1・2 の取り付け

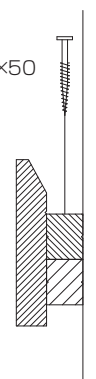


- [1] 壁に取り付けた取付桱木に、長押本体(取付桱木付)を取り付けます。長押本体が壁に取り付けた取付桱木の上に乗るようにしてください。



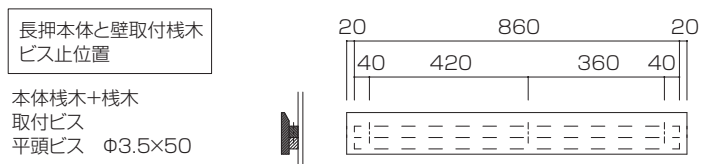
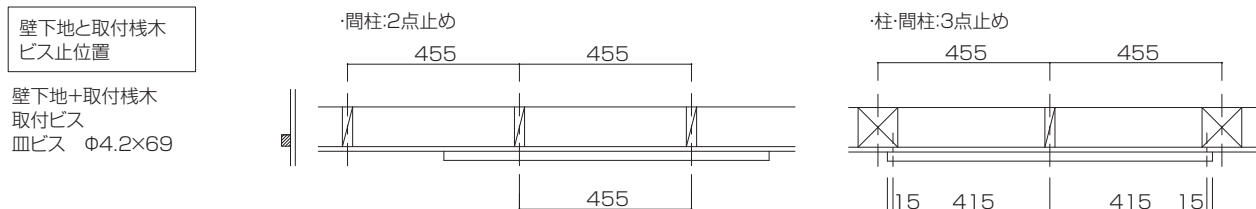
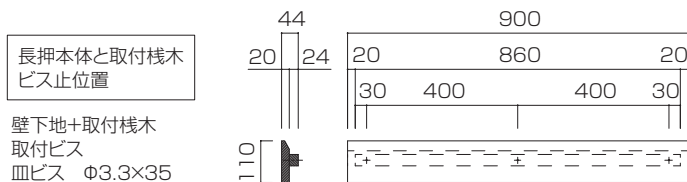
- [2] 長押本体の上面より同梱のビスでしっかり取り付けてください。取付は以上になります。

平頭ビス Φ3.5×50 (同梱)

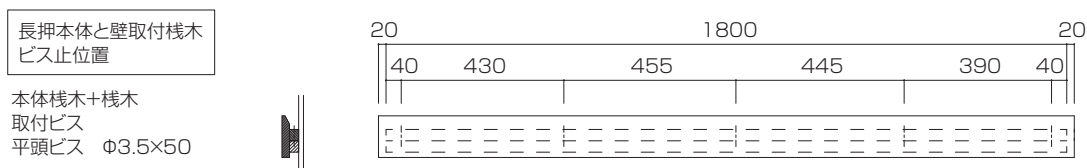
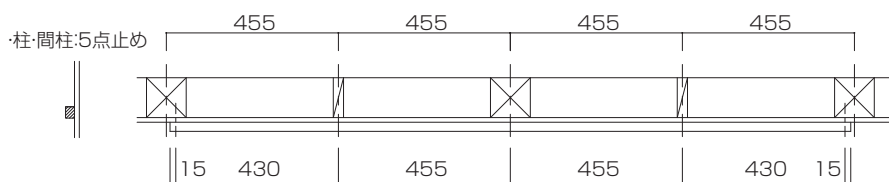
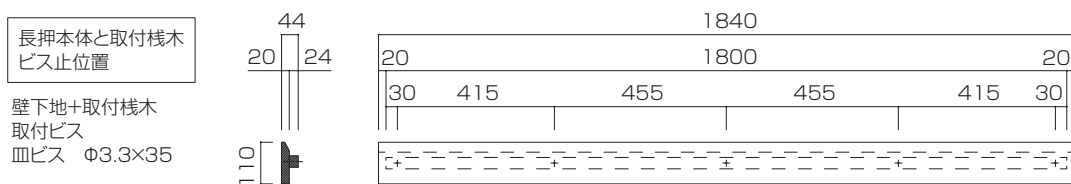


各部材寸法ごとの推奨ビス位置

■ 3尺



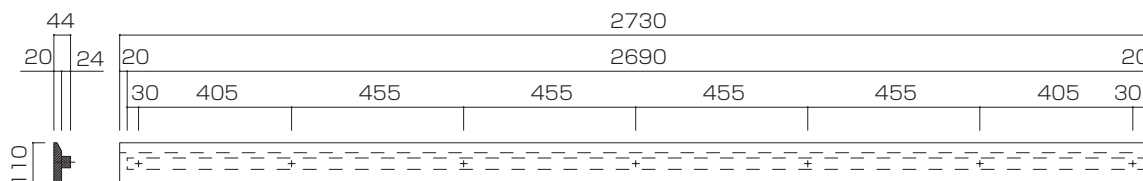
■ 6尺



■ 9 尺

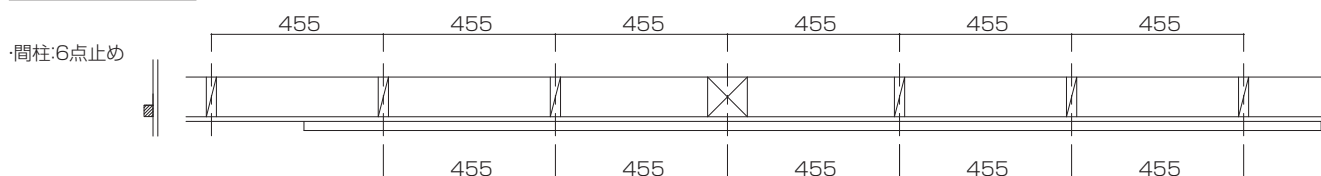
長押本体と取付棧木
ビス止位置

壁下地+取付棧木
取付ビス
皿ビス Φ3.3×35

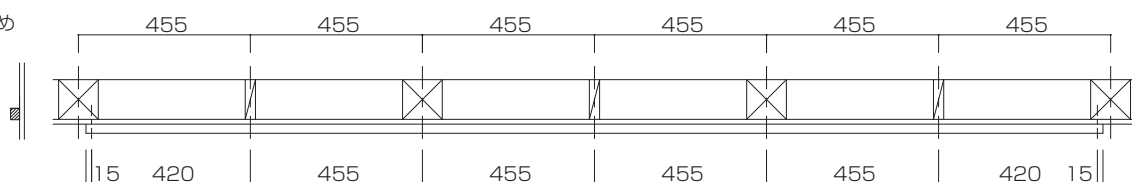


壁下地と取付棧木
ビス止位置

壁下地+取付棧木
取付ビス
皿ビス Φ4.2×69

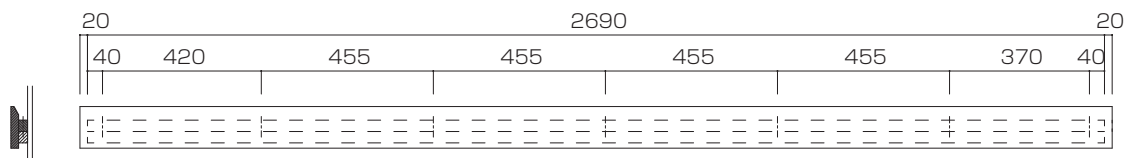


・柱・間柱:7点止め



長押本体と壁取付棧木
ビス止位置

本体棧木+棧木
取付ビス
平頭ビス Φ3.5×50



注意

ビス止め推奨位置に壁下地がない場合、必ずまぐさや12mm以上の合板等を下地に入れてください。